

## 4-2 概算事業費

### 4-2-1 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費の総額は、約 12.69 億円となり、日本と「イ」国との負担区分に基づく双方の経費内訳は次の通りである。

#### (1) 積算条件

- 概算事業費算出
- 外国為替レート      1US\$ = 119円（平成9年9月時点）、  
1US\$ = 2,507Rp（平成9年3月15日～9月15日平均）
- 工事期間              計 12ヶ月
- 施工業種              日本国法人による施工会社への一括発注
- 建設工事に必要な仮設・建設機材の持ち込み、持ち出しに対する関税および日本側施工会社にかかる現地での各種免税措置
- 政変、および異常気象による大幅な工期の遅れがないものとする。

#### (2) 日本側負担経費

事業費区分	工事費
(1) 建設工事費	10.24 億円
①直接工事費	7.59 億円
②共通仮設費	0.56 億円
③輸送梱包費	0.16 億円
④現場経費	1.25 億円
⑤一般管理費	0.68 億円
(2) 機材費	0.80 億円
(3) 設計監理費	1.20 億円
合 計	12.24 億円

#### (3) 「イ」国負担経費

事業費区分	必要経費		
	MND	UPD	合計
(1) 敷地準備工事	2.64 百万円	0.73 百万円	3.37 百万円
(2) その他の経費 (Utility の接続)	30.22 百万円	10.09 百万円	40.31 百万円
合 計	32.86 百万円	10.82 百万円	43.68 百万円

## 4-2-2 維持・管理計画

### (1) 施設／維持・管理計画

#### <A: BAPELKES-MND>

本件の実施後、BAPELKES-MNDはCクラスからBクラスへ格上げされ、それに伴って管理・運営組織もこれまでの事務・運営課だけの組織から事務課とプログラム運営課に分けられる予定である。また、これに伴ってスタッフの人数も22名から44名へ増員される予定である。（「2.4 プロジェクトの実施体制」参照）また、予算についても施設規模に応じた予算が分配される予定であり、予算上も問題はないと考えられる。現在の既存施設の維持・管理状況を見ると、施設管理上も大きな問題はないと考えられる。本計画により施設の規模は3倍以上となり、また講堂やコンピュータ室を設置する寮もあることから、維持・管理専門のスタッフを確保し、簡易な修理についてはそのスタッフで対応可能な様にすべきであると考えられる。また、運営上の問題同様に、維持・管理が責任を持って行われるように、スタッフに対する教育・訓練も必要であると考えられる。

#### <B: BAPELKES-UPD>

BAPELKES-UPDも前述の通りBクラスからAクラスへ格上げされる予定であり、スタッフの増員が行われる予定である。また、施設増築に伴う予算の増加についても心配ないと考えられる。現在の施設は10年以上前に建設されたものであるが、維持・管理もしっかり行われており、特に問題ないと考えられるが、講堂及び特別訓練室の建設に伴って、維持・管理スタッフの増員とレベルアップが必要と考えられる。

### (2) 機材／維持・管理計画

BAPELKESでは座学を中心とする訓練を実施し、実習は病院や保健センターで行われている。このため要請には高度なものや特殊な修理を要する機材は含まれていない。現在の施設で維持管理上支障が出ているのはコンピュータであったが、その原因は電圧変動と頻繁な停電であるとのことであった。電圧変動に影響を受けやすいコンピュータや複写機は定電源装置の配備により影響を避けることとした。各BAPELKESには保守要員も確保されており、簡単な修理には対応できる体制となっている。機材の消耗品の入手はUPD、MNDとも問題はない。オーバーヘッドプロジェクタやスライドプロジェクタのハロゲンランプが3ヶ月毎に交換の必要があり、価格も高い。しかしながら、現状でも遅滞なく交換されており、予算上の問題もないと考えられる。

以上のように、UPD及びMNDのBAPELKESは、機材に関する十分な維持管理能力を有していると考えられる。

(3) 維持・管理費

1) 光熱用水費

本施設における各設備のランニングコストを試算すると、下記のとおりとなる。

<A: BAPELKES-MND>

1) 電力料金 (MND)

① 新施設について

「イ」国電力公社 (P. T. P L N) の供給規定によると、料金体系は、次のようになっている。

番 号 : 23

区 分 : G-2/MV

基本料金 : 4,560Rp/kVA・月

従量料金 : W B P (18:00~22:00) …176.50Rp/kWH

L W B P (22:00~18:00) …130.50Rp/kWH

本施設の契約容量は、変圧器容量 (250kVA) × 需要率 (0.85) によって、概ね 210kVA 程度と想定される。よって、P L N の供給規定によると、契約容量は 210kVA となる。

基本料金 :  $210\text{kVA} \times 4,560\text{Rp/kVA} \cdot \text{月} \times 12\text{ヶ月} = 11,491,200\text{Rp/年}$

従量料金 : W B P  $210\text{kVA} \times \text{力率} (0.8) \times 276\text{日} \times 2\text{h} \times 0.2 \times 176.50\text{Rp/kWH}$   
 $= 3,273,580\text{Rp/年}$

: L W B P  $210\text{kVA} \times \text{力率} (0.8) \times 276\text{日} \times 10\text{h} \times 0.6 \times 130.50\text{Rp/kWH}$   
 $= 36,306,144\text{Rp/年}$

---

①計 51,070,924/年

となる。

② 既存施設について

既存施設の料金体系も新施設の場合と同様であり、既存 BAPELKES 受領データより、②約 2,683,380Rp/年となる。

以上より①計+②計=53,754,304Rp/年となる。

これは、1999/2000年時における既存 BAPELKES の電気代予算額 7,353,540Rp の約 7.3 倍と推定でき、この予算措置を「イ」国側へ要望する必要がある。

## 2) 水道料金 (MND)

### ① 新施設について

本施設にて消費される水道量は、 $23\text{m}^3/\text{日}$ と想定される。また、現行の水道料金は、使用水量ごとに設定されており、

月間水道使用量	:	$23\text{m}^3/\text{日}$	$\times$	$23\text{日}/\text{月}$	$=$	$529\text{m}^3/\text{月}$
水道使用料金	:	$10\text{m}^3$	$\times$	$450\text{Rp}$	$=$	$4,500\text{Rp}/\text{月}$
	:	$10\text{m}^3$	$\times$	$675\text{Rp}$	$=$	$6,750\text{Rp}/\text{月}$
	:	$10\text{m}^3$	$\times$	$900\text{Rp}$	$=$	$9,000\text{Rp}/\text{月}$
	:	$499\text{m}^3$	$\times$	$1,350\text{Rp}$	$=$	$673,650\text{Rp}/\text{月}$
基本料金	:					$1,500\text{Rp}/\text{月}$
印紙等	:					$1,250\text{Rp}/\text{月}$
				計		$696,650\text{Rp}/\text{月}$

となる。したがって、年間水道料金は  $696,650\text{Rp}/\text{月} \times 12\text{ヶ月}/\text{年} \times 0.6 = 5,015,880\text{Rp}/\text{年}$ …①計となる。

### ② 既存施設について

既存施設にて消費される水道量は、既存 BAPELKES 受領データより約  $466,625\text{Rp}/\text{年}$ となる。

以上より①計+②計= $5,482,505\text{Rp}/\text{年}$ となる。これは、1999/2000年時の水道料金予算額  $5,529,960$  とほぼ同額であり、「イ」国側にて必要な予算の確保が可能であると推定される。

## 3) 燃料費 (MND)

ここでは非常用自家発電設備における燃料を算定する。非常用自家発電設備の燃料は、ディーゼル軽油を使用する。ディーゼル軽油の単価は、 $380\text{Rp}/\ell$ である。よって、

雨期 (11月~2月)	:	1週間に1回10時間の停電があると想定すると、 $50\ell/\text{h} \times 16\text{回} \times 10\text{h} \times 380\text{Rp}/\ell$ $= 3,040,000\text{Rp}/\text{年}$
乾期 (3月~10月)	:	1週間に1回3時間の停電があると想定すると、 $50\ell/\text{h} \times 32\text{回} \times 3\text{h} \times 380\text{Rp}/\ell$ $= 1,824,000\text{Rp}/\text{年}$
計		$4,864,000\text{Rp}/\text{年}$

となる。

これは、1999/2000年次における予算額  $1,500,000\text{Rp}$  の約3.2倍と推定でき、この予算措置について「イ」国側へ要望する必要がある。

#### 4) 電話料金 (MND)

##### ① 新施設について

TELKOMの料金体系は、主に次のように区分けされている。

基本料金：20,000Rp/LINE/月

従量料金：市内は、METROPOLITAN, LOKAL-I (0~20km)、LOKAL-II (20~30km) の3つの範囲に分けられ、かつ、それぞれ0:00~9:09、9:00~15:00、15:00~24:00の3つの時間帯に細分化されている。ここでは、市内の従量料金を一括して、115Rp/2分とする。

市外は、ZONE-I (30~200km)：108Rp/7秒、ZONE-II (200~500km)：108Rp/5秒、ZONE-III (500km以上)：108Rp/4秒の3つの範囲に分けられている。ここでは、市外の従量料金を一括して、108Rp/4秒とする。

電話回線の使用頻度を

市 内：1回 6分 20回/日

市 外：1回 6分 5回/日

のように想定すると、算出式は、下記のようなになる。

市 内：115Rp/2分×6分×20回/日×23日/月=158,700Rp/月

市 外：108Rp/4秒×(6分×60秒)×5回/日×23日/月  
=1,117,800Rp/月

基本料金：20,000Rp/LINE/月×2 LINE=40,000Rp/月

計 1,316,500Rp/月

よって、年間電話料金は、

1,316,500Rp/月×12ヶ月/年×0.7=11,058,600Rp/年…①となる。

##### ② 既存施設について

既存施設には、電話回線はないので、0…②とする。

以上より、①計+②計=11,058,600Rp/年となる。

これは、1999/2000年予算案における電話料金予算額5,529,960Rpの約2.0倍と推定でき、この予算措置を「イ」国側へ要望する必要がある。

上記試算に基づいて、本計画実施後に予想される1年間の光熱用水費を算出すると、

電気料金	:	53,754,304Rp/年
水道料金	:	5,900,495Rp/年
燃料費	:	4,864,000Rp/年
電話料金	:	11,058,600Rp/年
合計	:	75,577,399Rp/年

となり、約75,600,000Rp/年の光熱用水費予算計上が必要となる。

すなわち、本計画実施後における光熱用水費は、「イ」国側にて検討されている1999/2000年度の光熱用水費19,913,460Rpの約3.8倍程度必要になると考えられる。

#### <B: BAPELKES-UPD>

##### 1) 電力料金 (UPD)

###### ① 新施設について

「イ」国電力公社 (P. T. PLN) の供給規定によると、料金体系は、次のようになっている。

番 号 : 22  
区 分 : G-1/LV  
基本料金 : 8,500Rp/kVA・月  
従量料金 : 188.50Rp/kWH

今回増築に伴う契約容量は、概ね110kVA程度の増加と想定される。

基本料金 :  $110\text{kVA} \times 8,500\text{Rp/kVA} \cdot \text{月} \times 12 \text{ヶ月} = 11,220,000\text{Rp/年}$   
従量料金 :  $110\text{kVA} \times \text{力率}(0.8) \times 276 \text{日} \times 12\text{h} \times 0.2 \times 188.50\text{Rp/kWH}$   
 $= 10,987,891\text{Rp/年}$

---

①計 22,207,891Rp/年

となる。

###### ② 既存施設について

既存施設の料金体系も新施設の場合と同様であり、既存 BAPELKES 受領データより、②約9,000,000となる。

以上より①計+②計=31,207,891Rp/年となる。

これは、1999/2000年予算案における電気代予算額23,287,500Rpの約1.3倍と推定でき、この予算措置を「イ」国側へ要望する必要がある。

## 2) 水道料金 (UPD)

### ① 新施設について

本施設にて消費される水道量は、 $13\text{m}^3/\text{日}$ と想定される。また、現行の水道料金は、使用水量ごとに設定されており、

月間水道使用量	:	$13\text{m}^3/\text{日}$	$\times$	$23\text{日}/\text{月}$	$=$	$299\text{m}^3/\text{月}$
水道使用料金	:	$15\text{m}^3$	$\times$	$750\text{Rp}$	$=$	$11,250\text{Rp}/\text{月}$
	:	$15\text{m}^3$	$\times$	$1,500\text{Rp}$	$=$	$22,500\text{Rp}/\text{月}$
	:	$20\text{m}^3$	$\times$	$1,750\text{Rp}$	$=$	$35,000\text{Rp}/\text{月}$
	:	$249\text{m}^3$	$\times$	$2,000\text{Rp}$	$=$	$498,000\text{Rp}/\text{月}$
基本料金	:					$1,500\text{Rp}/\text{月}$
印紙等	:					$1,250\text{Rp}/\text{月}$
① 計						$569,500\text{Rp}/\text{月}$

よって、年間水道料金は  $569,500\text{Rp}/\text{月} \times 12 \text{ヶ月}/\text{年} \times 0.7 = 4,783,800\text{Rp}/\text{年}$ …  
①計となる。

### ② 既存施設について

既存施設にて消費される水道量は、既存 BAPELKES 受領データより水道料金は  
(給水車利用) 約  $1,440,000\text{Rp}/\text{月}$

となる。

よって、年間水道料金は  $1,440,000\text{Rp}/\text{月} \times 12 \text{ヶ月}/\text{年} = 17,280,000\text{Rp}/\text{年}$ …②  
計と推定される。

尚、BAPELKES 施設は、公共市水道が布設された後は、上記、給水車利用は中止し、公共市水道利用に切り替える予定にある。

その際の既存施設の給水使用量を試算すると、下記の様になる。

1日水道使用量	:	$5\text{m}^3/\text{日}$				
月間水道使用量	:	$5\text{m}^3/\text{日}$	$\times$	$23\text{日}/\text{月}$	$=$	$115\text{m}^3/\text{月}$
水道使用料金	:	$15\text{m}^3$	$\times$	$750\text{Rp}$	$=$	$11,250\text{Rp}/\text{月}$
	:	$15\text{m}^3$	$\times$	$1,500\text{Rp}$	$=$	$22,500\text{Rp}/\text{月}$
	:	$20\text{m}^3$	$\times$	$1,750\text{Rp}$	$=$	$35,000\text{Rp}/\text{月}$
	:	$65\text{m}^3$	$\times$	$2,000\text{Rp}$	$=$	$130,000\text{Rp}/\text{月}$
基本料金	:					$1,500\text{Rp}/\text{月}$
印紙等	:					$1,250\text{Rp}/\text{月}$
② 計						$201,500\text{Rp}/\text{月}$

よって、年間水道料金は  $201,500\text{Rp}/\text{月} \times 12 \text{ヶ月}/\text{年} = 2,418,000\text{Rp}/\text{年}$ …②計となる。

以上より①計+②計= $7,201,800\text{Rp}/\text{年}$ となる。1999/2000年時における水道料金としては、 $43,987,500\text{Rp}$ が計上されており、十分であるといえる。

### 3) 燃料費 (UPD)

ここでは非常用自家発電設備における燃料を算定する。非常用自家発電設備の燃料は、ディーゼル軽油を使用する。ディーゼル軽油の単価は、 $380\text{Rp}/\ell$ である。よって、

雨期 (11月～2月) : 1週間に1回10時間の停電があると想定すると、  
 $50 \ell/\text{h} \times 16 \text{回} \times 10\text{h} \times 380\text{Rp}/\ell$   
 $= 3,040,000\text{Rp}/\text{年}$

乾期 (3月～10月) : 1週間に1回3時間の停電があると想定すると、  
 $50 \ell/\text{h} \times 32 \text{回} \times 3\text{h} \times 380\text{Rp}/\ell$   
 $= 1,824,000\text{Rp}/\text{年}$

計  $4,864,000\text{Rp}/\text{年}$

となる。

1999/2000年の予算内訳をみると、特に発電機用の燃料費の予算はつけられておらず、この予算措置について「イ」国側へ要望する必要がある。

### 4) 電話料金 (UPD)

#### ① 新施設について

TELKOMの料金体系は、主に次のように区分けされている。

基本料金： $20,000\text{Rp}/\text{LINE}/\text{月}$

従量料金：市内は、METROPOLITAN、LOKAL-I (0～20km)、LOKAL-II (20～30km)の3つの範囲に分けられ、かつ、それぞれ0:00～9:00、9:00～15:00、15:00～24:00の3つの時間帯に細分化されている。ここでは、市内の従量料金を一括して、 $115\text{Rp}/2\text{分}$ とする。

市外は、ZONE-I (30～200km)： $108\text{Rp}/7\text{秒}$ 、ZONE-II (200～500km)： $108\text{Rp}/5\text{秒}$ 、ZONE-III (500km以上)： $108\text{Rp}/4\text{秒}$ の3つの範囲に分けられている。ここでは、市外の従量料金を一括して $108\text{Rp}/4\text{秒}$ とする。



電話回線の使用頻度を

市内： 1回 6分 20回/日

市外： 1回 6分 5回/日

のように想定すると、算出式は、下記のようになる。

市内：  $115\text{Rp}/2\text{分} \times 6\text{分} \times 20\text{回}/\text{日} \times 23\text{日}/\text{月} = 158,700\text{Rp}/\text{月}$

市外：  $108\text{Rp}/4\text{秒} \times (6\text{分} \times 60\text{秒}) \times 5\text{回}/\text{日} \times 23\text{日}/\text{月}$   
 $= 1,117,800\text{Rp}/\text{月}$

基本料金：  $20,000\text{Rp}/\text{LINE}/\text{月} \times 1\text{LINE} = 20,000/\text{月}$

計  $1,296,500\text{Rp}/\text{月}$

よって、年間電話料金は、

$1,296,500\text{Rp}/\text{月} \times 12\text{ヶ月}/\text{年} \times 0.7 = 10,890,600\text{Rp}/\text{年} \dots \text{①}$ となる。

② 既存施設について

既存施設の電話料金は、既存 BAPELKES 受領データより②約  $40,000\text{Rp}/\text{年}$ と想定される。

以上より、①計+②計 =  $10,930,600\text{Rp}/\text{年}$ となる。1999/2000年予算案における電話代予算額としては  $21,608,212.5\text{Rp}$ が見込まれており、十分であるといえる。

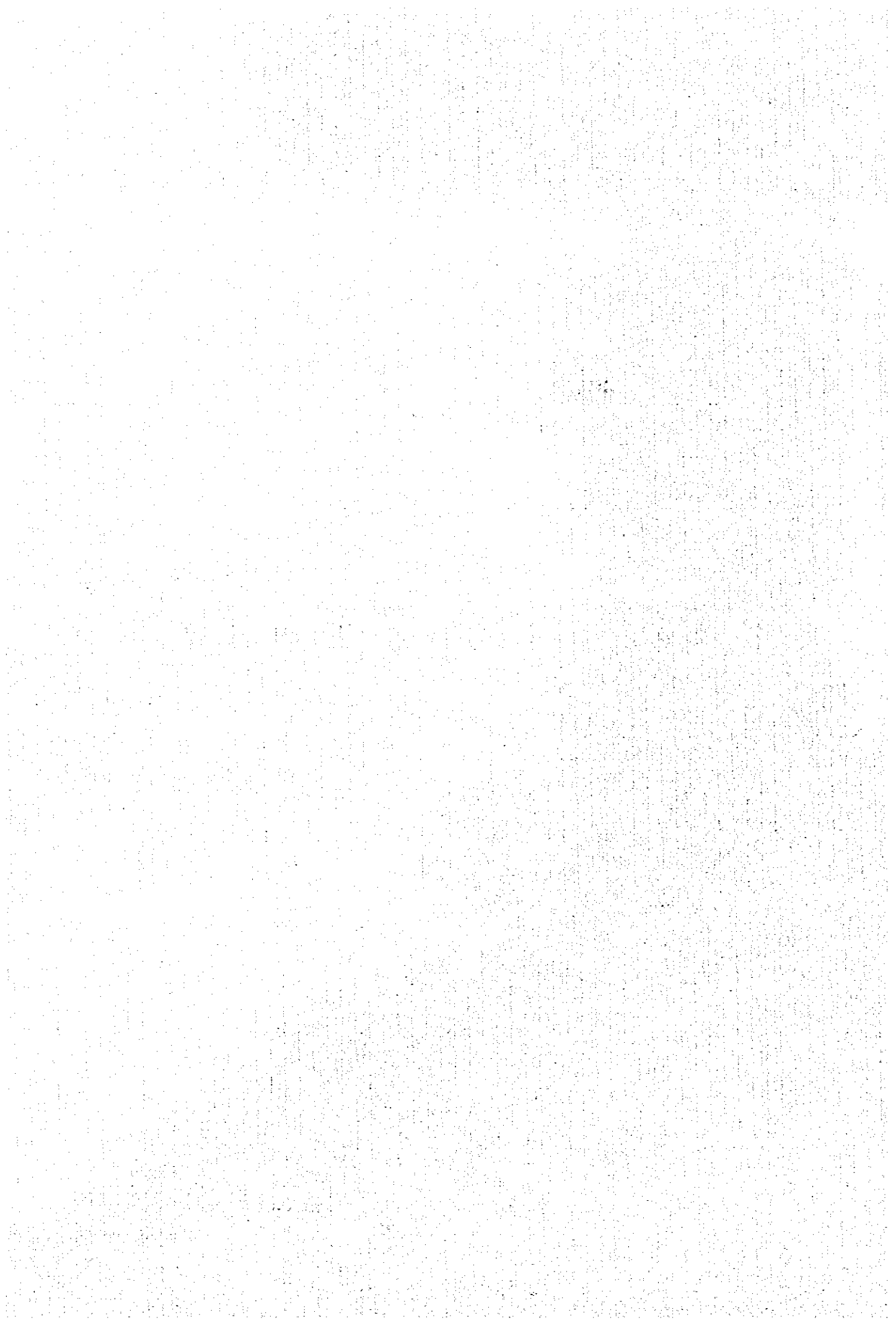
上記試算に基づいて、本計画実施後に予想される1年間の光熱用水費を算出すると、

電気料金	：	$31,207,891\text{Rp}/\text{年}$
水道料金	：	$4,783,800\text{Rp}/\text{年}$
燃料費	：	$4,864,000\text{Rp}/\text{年}$
電話料金	：	$10,930,600\text{Rp}/\text{年}$
合計	：	$51,786,291\text{Rp}/\text{年}$

となり、約  $51,800,000\text{Rp}/\text{年}$ の光熱費予算計上が必要となる。

すなわち、本計画実施後における光熱用水費は、「イ」国側にて検討されている1999/2000年度の光熱用水費  $88,883,212\text{Rp}$ の約58%であり、十分であるといえる。

## 第5章 プロジェクトの評価と提言



## 第5章 プロジェクトの評価と提言

### 5-1 妥当性に係わる実証・検証および裨益効果

本件の実施において、「イ」国南北スラウェシ州における保健医療従事者のための訓練センター（BAPELKES）の施設の拡充および機材の調達を行うことは、医者や看護婦・助産婦等の地域医療従事者の技術レベルの向上、すなわち地域の基礎的医療サービス（Primary Health Care）の水準の向上および医療事情の地域間格差の是正に繋がると考えられる。

多くの離島を有し、また交通の便の悪い山岳地帯を有する南北スラウェシ州での医療サービスは、地域の保健所（Health Center）に依存している。また、医療レファレル体制の整備も不十分であるため、医療サービスは保健センターなどの一次処理に頼っているのが現状である。さらに、移民対象県を有する南北スラウェシ州においては、人口増に伴って保健医療施設の拡充も望まれている。このような状況下において、保健センター等に配属され、プライマリーヘルスケアの現場に携わっている医療従事者が重要な役割を果たす。したがって、地域の医療従事者に対して訓練を行うことは、感染症や急性肺炎、マラリアおよび周産期疾患等の予防及び治療が可能とされる疫病の早期発見と適切な初期治療を可能とし、「予防できる死亡」の減少に不可欠となる地方の医療事情の改善、向上に非常に有効であると考えられる。

今回の施設・機材の整備が、スラウェシ地域の保健医療従事者の訓練を強化し、BAPELKESの適切な活動に繋がると期待できる。また、「イ」国では、社会経済的な発展にも関わらず乳児死亡率が他のアジアの国々と比べて高いが、本件実施により地域医療を充実させることは乳児死亡率の低下へも寄与すると考えられる。

「イ」国は1994年から「第6次国家開発計画5ヶ年計画（REPEELITA VI）」に取り組んでおり、保健医療分野の目的は、「全ての社会階層における保健医療サービスの改善と健康状態の改善による保健・医療水準の向上」とされており、保健医療サービスの「質の向上」と「公平な分配」を最重要課題としている。本件の実施により、スラウェシ地域の保健医療サービスを担う人材を効率的・効果的に育成することは、この国家計画の目標達成に向けても大きく役立つと期待できる。

本件の実施によりBAPELKES-MNDとUPDの施設・機材が拡充されることにより期待される裨益効果の前提となる各訓練および活動の内容については、大きく次の5項目に分けられる。

- (1) BAPELKESでは、KANWILやDINAS等のスタッフの職務訓練も行っており、これは医療分野における最善の判断力を養うための訓練であると共に、この訓練の受講は昇級・昇進にも繋がっている。訓練内容も多岐にわたり、今後の地域医療を担う人材育成プログラムである。このことは、地域保健医療行政全体のレベルアップに繋がると考えられる。
- (2) 地域医療に携わる医師や看護婦等に対する配属前訓練は、広大なインドネシアの農村や僻地における一次医療の現場を支える医師と助産婦を訓練するばかりでなく、医療経験の浅い新人の拠り所となる知識や技術を与える唯一の機会ともなっており、地域医療に与える影響は非常に大きい。

- (3) 進歩の著しい保健医療分野において、医療技術の再教育は、疾病傾向の変化等に対応していく上で重要なことであり、プログラム所有者が主として実施している技術訓練は、医師や看護婦等の医療技術の向上と最新医療技術の習得には不可欠である。流行病の抑制や死亡率指数の改善に大きく影響を与えるものと考えられ、医療スタッフの医療技術の改善によって地域医療の水準を維持するための、重要な訓練となっている。また、医療機材や医薬品関係等に関する情報交換等も、地域医療の向上に果たす役割は大きい。
- (4) BAPELKES では、医師をはじめ、看護婦、助産婦、パラメディカル等の多岐にわたる医療従事者の再教育の他、住民や青少年等を対象として衛生観念や麻薬・飲酒に関する教育、啓蒙活動等も行っている。このような包括的な訓練・研修活動は、人々の保健医療に対する意識を改革していく上で波及効果が大きく、本件は地域レベルでの保健医療事情の改善にとって非常に有効であると考えられる。
- (5) BAPELKES では、保健プロフィールの作成等のプログラムも実施している。保健所等との連携により各地域の保健医療事情を把握していくことは、今後の保健医療政策及び活動の発展に繋げるために重要である。特に、保健統計指標を把握監理することにより、より適切な訓練プログラムを策定することが可能となる。

であり、以上の5項目の内容を踏まえ裨益効果は、次の通りである。

- (効果1) BAPELKES-MND の施設を建設することにより、これまで充実した施設を持たなかった当該センターにおける医療従事者等への訓練・研修の効果を高め、同時に同センターの財務的負担の軽減によって予算の有効活用が期待できる。さらに、宿泊施設の建設により、マナド周辺の離島からの訓練対象者の参加が可能となる。また、充実した施設を整備することにより、訓練対象者となる医療従事者の、プログラムへの参加を促すことにも繋がると考えられる。これにより、年間約 1,500 人の医療従事者の研修が可能となり、北スラウェシ州における約 260 万人の人々が恩恵を被ると考えられる。
- (効果2) BAPELKES-UPD における講堂およびドミトリーの建設は、スラウェシ島全体及び東部インドネシア地域のイリアンジャヤ、カリマンタン島等の人々をも対象とする大規模なセミナーの実施が可能になると共に、限られた講師により一度に多くの人々に対する訓練・研修を行うことが可能となる。さらに特別訓練室の建設によって、コンピュータ訓練の導入等の拡充が可能となり、知識の交換、保健医療サービスの活性化等、同センターの活動を促進することになる。延いては東インドネシア地域全体の医療事情の向上に寄与すると考えられる。
- (効果3) 両 BAPELKES では人体模型等の不足のために教室内での技術訓練があまり行われておらず、こういった必要性の高い、ニーズに即した訓練機材を供与することにより、訓練活動をより活発化し、効果的な技術訓練を行うことが可能となる。

以上のように本件の実施による効果はスラウェシ全域だけではなく、さらには東部インドネシアの人々に及ぶと期待される。

## 5-2 技術協力・他ドナーとの連携

### (1) 他ドナーとの連携

第2章にて述べたとおり、「イ」国の保健医療分野については世銀やWHO等様々な他ドナーの協力が行われてきており、医療従事者の訓練に関しても同様である。本件に関しては、特に他ドナーとの関わりはないが、アチェ州やリアウ州等のBAPELKESの拡充を世銀が行うなど、本件と並行して同様の協力が他ドナーによっても行われていること、それにより「イ」国の医療従事者に対する訓練が全体的に強化されていくことの意義は大きいと考えられる。

### (2) 技術協力

本件については、既に「南スラウェシ地域保健所強化計画」が実施されており、本計画で整備するBAPELKESもその活動場所の1つとなっている。よって本計画による施設と機材整備を契機とし、「イ」国側が活動内容を充実および強化するように取り組めば、本計画の目標に寄与するものと考えられる。

また、本件実施後のBAPELKESの活動を促進し充実させるための対策として、BAPELKESのスタッフに対する教育及び意識改革も必要であると考えられることからカウンターパート研修の実施も検討されている。

### 5-3 課題

本計画は、前述したように多大な効果が期待されるが、本プロジェクトにおける効果をより高めるためには、以下の点について今後「イ」国側での対応が必要であると考えられる。

#### (1) CETHP、KANWIL との関係強化と今後の活動計画

BAPELKES では地域の医療従事者の訓練を担当することになっているが、現在の BAPELKES の活動は、前述の通り CETHP の計画・指導及び KANWIL 等のプログラム所有者による活動計画により定められているのが現状であり、BAPELKES 自体で計画したプログラムを実施することは非常に少ない。そのため実際にはこのプログラム所有者が予算を掌握している訓練については主導権がなく、トレーニングプログラムの将来計画等も BAPELKES 自体では作成しづらい状況にある。医療従事者の訓練の全国的な展開として CETHP が全体を統括指導し、その全体計画に則って訓練が行われることは、大変重要なことであるが、BAPELKES が地域の医療従事者の訓練センターとしての位置付けを確立し、発展していくためには、プログラム所有者による訓練プログラムにも積極的に参画し、主導的な役割を持つことが重要である。このためには、保健省内部の予算制度の改革も一つの方法であると考えられるが、制度的改革だけでは解決しないとも思われる。従って、BAPELKES は日常的に KANWIL や DINASKES Tk I、II の各部局と連絡や交流を密にし、訓練の専門機関としての BAPELKES の施設、スタッフ、運営等の能力を幅広く伝え、BAPELKES とタイアップした訓練の有利性への理解を広める必要がある。KANWIL や DINAS のスタッフの昇進に必要な各訓練コースの修了証書の発行等 BAPELKES 自体の権限を増やし、BAPELKES 主体の独自の活動を促進することも必要ではないかと考えられる。

BAPELKES で実施している訓練には、独自で行っているものもあるが、KANWIL や DINASKES のプログラム所有者によるものが多く、また、訓練の対象者も KANWIL や DINASKES のスタッフが中心である。このように BAPELKES の活動には両局との調整、連携が大変重要となっている。KANWIL による活動の関わり方には州によって差があるが、BAPELKES の活動をより活発化し、またその内容の充実を図っていくためには、両者の連絡を密にし、関係を強化していく必要があると考えられる。

#### (2) トレーナーの確保とレベルの向上

訓練施設が少なく、トレーナーの確保が困難な北スラウェシでは、プログラム所有者の協力や理解も得易く、現状を強化していけば問題ないと考えられるが、訓練代替施設があり、トレーナーの確保が比較的容易な南スラウェシでは BAPELKES が地域医療従事者の中心的訓練センターとして機能することは容易ではないと考えられる。上記のように、医療従事者の訓練センターとしての BAPELKES の活動を充実・発展させていくためには、監理・運営スタッフの能力開発と共に、トレーナーの専門家としての自覚と能力を高める必要がある。

(3) 維持管理体制に関するより具体的な計画の策定

両 BAPELKES の運営計画については MND が C クラスから B クラスへ、UPD が B クラスから A クラスへ格上げされることに伴う管理・運営体制及びスタッフの増員については前述のように計画され準備が進められているが、今後施設・機材の拡充も踏まえた運営計画のより具体的な検討と策定を進めていく必要がある。具体的には、トレーニングプログラム、セミナー等の実施計画とトレーナー等の確保、自立的な発展をより強化するための収入計画、CETHP や保健センター等関連施設とのコンピュータネットワーク等をさらに詳細に検討する必要がある。

(4) 「イ」国内の関係機関の協力体制の確立

スタッフ、トレーナーの確保、訓練プログラムの実施には CETHP 及び KANWIL の協力と理解が必須であり、また州・県の衛生局 (DINAS)、病院等の協力も必要である。現状を見る限りでは、幅広く各機関に従事する人々を対象としており、人事システム上、昇級・昇進または正式な資格を取得するための訓練を BAPELKES で行う様になっているため参加希望者も多く、参加者の確保に対する各医療機関の理解は得られているようである。しかし、今後も参加者を確保していくためには、訓練プログラム内容を充実させプログラムに参加することの意義、価値を高める努力をしていく必要があり、そのためには他の関係機関との協力態勢の強化も必要であると考えられる。

(5) 自立発展と収入源の確保

BAPELKES の運営予算は国家財源に依存する点が大きく、CETHP を通じての必要予算の確保は必須である。「イ」国では、病院等に対する独立採算性の導入を奨励しているが、将来的に独立して発展していくためには、収入源の確保および維持管理計画を十分に検討していく必要がある。BAPELKES の施設については保健省以外の機関が利用することも可能となっており、その使用料等も CETHP で定めているが、本件による施設と機材の整備を有効に利用することと同様に、一般の受講者や企業を有料で受け入れる独自のセミナーの企画や研修用テキスト等の出版などの収入確保の方法を検討していく必要があると考えられる。

(6) 「イ」国政府側負担工事の円滑な実施および予算の確保

「イ」国政府側負担工事の実施を確実にするために、「イ」国の予算年度に合わせ、適切な時期に予算措置がとられることが必要である。MND については、今年中に建設予定の職員住居の工事が行われる予定であるが、その他に塀の除去や整地等が「イ」国側負担にて、本工事の着工前に行われるべき重要な工事である。また、今回は特に両サイトとも水の確保が難しく、重要な課題であると考えられる。MND については十分な量の給水の確保、UPD については現在工事中の市水の確保が課題となっており、「イ」国側での対応が求められる。

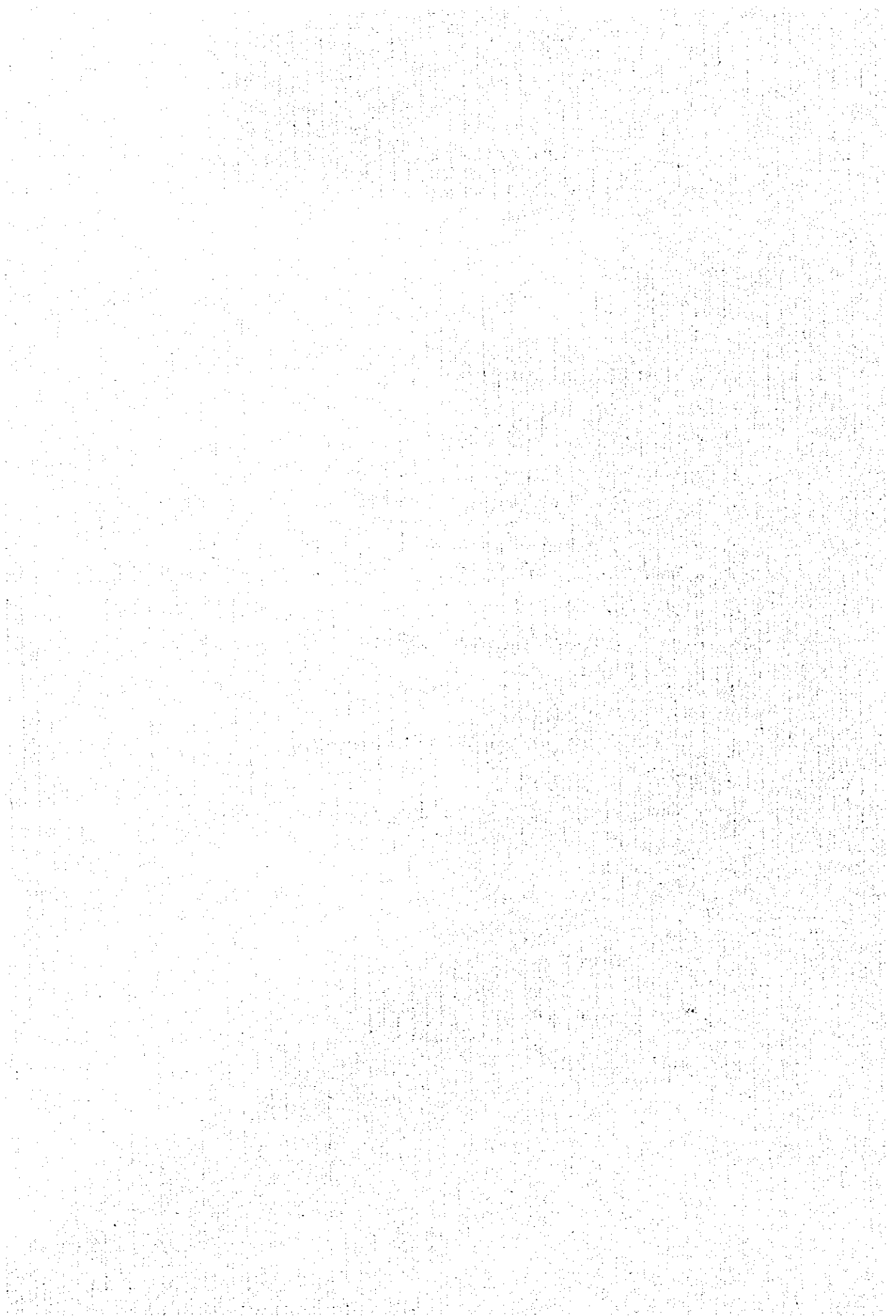
さらに、無償資金協力で協力対象とする工事範囲外の什器・備品・家具等についても運営開始後、支障のないよう、施設竣工前に「イ」国政府側にて予算措置がとられることが必要である。





## 添 付 資 料

1. 調査団員氏名、所属 (B/D、D・B/D)
2. 調査日程 (B/D、D・B/D)
3. 面談者リスト (B/D、D・B/D)
4. 当該国の社会・経済事情
5. Minutes of Discussions (1997. 7. 3)
6. Minutes of Discussions (1997. 9. 19)
7. BAPELKES のスタンダード
8. BAPELKES の訓練カリキュラム
9. BAPELKES-UPD の訓練参加者数 (宿泊者数)
10. BAPELKES の予算
11. BAPELKES の施設使用料
12. 大規模セミナーおよび会議リスト (BAPELKES-UPD)
13. 現況写真
14. BAPELKES-UPD への給水に関する KANWIL-UPD からのレター
15. 訓練スケジュール
16. 収集資料リスト



(1) 基本設計現地調査団員リスト (1997年6月22日~7月20日)

- |   |   |
|---|---|
| 1 総括/疋田 和生<br>Team Leader, Dr. Kazuo HIKITA, M.D.                     | 厚生省国立国際医療センター<br>国際医療協力局  |
| 2 計画管理/石沢 祐子<br>Project Coordinator, Yuko ISHIZAWA                    | 国際協力事業団無償資金協力調査部<br>調査第一課   |
| 3 業務主任・運営維持管理計画/波多野 哲次<br>Project Manager, Tetsuji HATANO             | (株) パシフィックコンサルタンツ<br>インターナショナル<br>Pacific Consultants International |
| 4 建築計画/中村 博明<br>Architectural Planner, Hiroaki NAKAMURA               | (株) パシフィックコンサルタンツ<br>インターナショナル<br>Pacific Consultants International |
| 5 訓練・研修/機材計画/三好 謙三<br>Training and Equipment Planner<br>Kenzo MIYOSHI | (株) パシフィックコンサルタンツ<br>インターナショナル<br>Pacific Consultants International |
| 6 設備計画/島田 隆次<br>Facilities and Utilities Planner,<br>Takatugu SHIMADA | (株) パシフィックコンサルタンツ<br>インターナショナル<br>Pacific Consultants International |
| 7 積算計画/佐々 優子<br>Cost and Procurement Planner, Yuko SASA               | (株) パシフィックコンサルタンツ<br>インターナショナル<br>Pacific Consultants International |

[2] 基本設計概要説明調査団員リスト (1997年9月7日~9月21日)

- 1 総括/石岡 秀敏  
Team Leader, Hidetoshi ISHIOKA  
国際協力事業団無償資金協力業務部  
業務第一課  
First Project management Division, Grant Aid  
Project Management Department, Japan  
International Cooperation Agency (JICA)
- 2 技術参与/藤田 雅美  
Technical Adviser, Dr. Masami FUJITA  
厚生省国立国際医療センター  
国際医療協力局  
Bureau of International Cooperation,  
International Medical Center of Japan  
Ministry of Health and Welfare
- 3 業務主任・運営維持管理計画/波多野 哲次  
Project Manager, Tetsuji HATANO  
(株) パシフィックコンサルタンツ  
インターナショナル  
Pacific Consultants International
- 4 訓練・研修/機材計画/三好 謙三  
Training and Equipment Planner  
Kenzo MIYOSHI  
(株) パシフィックコンサルタンツ  
インターナショナル  
Pacific Consultants International
- 5 設備計画/島田 隆次  
Facilities and Utilities Planner,  
Takatugu SHIMADA  
(株) パシフィックコンサルタンツ  
インターナショナル  
Pacific Consultants International
- 6 積算計画/佐々 優子  
Cost and Procurement Planner, Yuko SASA  
(株) パシフィックコンサルタンツ  
インターナショナル  
Pacific Consultants International

## [1] 基本設計調査(1997年6月22日～7月20日)

No	月日	行程	業務の概要
1.	6月22日 日曜日	成田(10:50) - ジャカルタ(16:05)	JL725 到着後団内打合せ(スケジュール確認等)
2.	6月23日 月曜日	ジャカルタ 9:00 JICA事務所 10:00 日本大使館 11:00 保健省企画局  13:00 CET 15:30 BAPELKESジャカルタ	表敬訪問、打ち合わせ(佐々木次長、片山氏) 表敬訪問、打ち合わせ(宇津氏) 表敬訪問、打ち合わせ(Ms. Farida Djoko、柏本JICA技術専門家) 表敬訪問、打ち合わせ(Dr. Surono, CETHP代表) 表敬訪問、打ち合わせ(Dr. H.Tjutun Maksuni, Mph)
3.	6月24日 木曜日	ジャカルタ  ジャカルタ(13:10) - ウジュンパンダン(16:20) ウジュンパンダン 19:00 KANWIL  23:00 Sahid Makassar Hotel	資料整理 GA730:ウジュンパンダンへの移動  表敬訪問、打合せ(KANWILの役人:Dr. Burhanuddin、BAPELKESの役人:Dr. Salahuddin) 団内打合せ
4.	6月25日 水曜日	ウジュンパンダン 09:00 BAPELKES-UPD 10:00  13:00 BAPELKES-UPD (正田団長、石沢、波多野、三好) 14:30 KANWIL (中村、島田、佐々) 14:00 BAPELKES-UPD	打ち合わせ(BAPELKES-UPDの役人) 打ち合わせ(BAPPENASの役人:Dr.Triono、KSKG局長、KSKGスタッフ) 昼食会  打ち合わせ:(KANWILの役人、BAPELKES-UPDの役人)  サイト視察
5.	6月26日 木曜日	ウジュンパンダン (正田、石沢、波多野) 08:30 在ウジュンパンダン日本領事館  (他団員) ウジュンパンダン(11:20) - マナド(13:00) マナド 15:45 KANWIL-MND  17:30 BAPELKES-MND	表敬訪問、打ち合わせ(日本領事館の役人) 資料整理  GA740:マナドへの移動  表敬訪問、打ち合わせ - KANWILの役人(Dr.Sven, Dr.W.A.Kalalo and Dra.Rondonuwu) - BAPELKES-MNDの役人(Dr.Hanneke、Ms.Andy) サイト調査
6.	6月27日 金曜日	マナド 09:00 BAPELKES-MND	打ち合わせ、BAPELKES-MND職員との協議(設備コンポーネント及びカリキュラムについて:Dr. Hanneke, Director of BAPELKES, and other staffs) サイト調査
7.	6月28日 土曜日	マナド	資料整理
8.	6月29日 日曜日	マナド	団内打ち合わせ、資料整理
9.	6月30日 月曜日	マナド 11:30 BAPELKES-MND	協議(施設のコンポーネント、設備計画:KANWIL、BAPELKES-MNDのスタッフ) 建設事情調査(設備及び資材調達)

No	月日	行程	業務の概要
10.	7月1日 火曜日	マナド (正田、石沢、波多野) 09:00 KANWIL-MND  11:30 PUSKESMAS (中村、三好、島田、佐々) マナド(14:00)-ジャカルタ (17:45) 12:00 BAPELKES-MND	打ち合わせ (協議ミニッツ: KANWIL、BAPELKES-MNDのスタッフ) 関連施設の視察  GA741: ジャカルタへの移動 敷地調査 打ち合わせ (BAPELKES-MNDのスタッフ)
11.	7月2日 水曜日	ジャカルタ 10:00 保健省  マナド 09:00 BAPELKES-MND	打ち合わせ (協議ミニッツ: 保健省 (Ms. Farida, CET/Dr. Djoko and Ms. Haryafi and BAPPENAS/Mr. Arum) )  打ち合わせ (BAPELKES-MNDスタッフ、建設資材に関する地元コンサルタント調査)
12.	7月3日 木曜日	ジャカルタ 9:00 コンサルタント調査 14:00 保健省  マナド (島田) 08:30 PLN (中村、佐々) 10:00 BAPELKES-MND (島田) 11:00 TELKOM (島田、佐々) 13:00 TATAKOTA-MND 15:00 BAPELKES-MND	協議 (ウジュンバンダン、マナドでの調査業務) 協議ミニッツ調印 (Dr. Hidayat、正田) 出席者: 南北スラウェシKANWIL、Dr. Triono/BAPPENAS、Mrs. Farida and Dr. Murawati/保健省  協議 (電気供給: PLNスタッフ、Mr. Denny)  協議 (道路計画: 公共事業省)  協議 (電話回線: TELKOM)  協議 (マスタープラン、建設に必要な手続き等の確認) 打ち合わせ(職員寮について: 担当コンサルタント)
13.	7月4日 金曜日	ジャカルタ 12:00 JICA事務所 14:00 日本大使館 (石沢) ジャカルタ(23:30)→成田 マナド (中村、佐々) 09:00 BAPELKES-MND (島田) 11:00 PDAM 15:00 BAPELKES-MND	調査結果報告 (諏訪氏および片山氏へ) 調査結果報告 (宇津氏へ)  JL726: 帰国移動  詳細協議 (施設計画: BAPELKES-MNDスタッフ)  協議 (水道整備: PDAM) 打ち合わせ (建設資材調達: ローカルコンサルタント)
14.	7月5日 土曜日	ジャカルタ (正田、波多野)  (正田) ジャカルタ(09:00) マナド (中村、三好、佐々) 9:00 Leilem 15:00 BAPELKES-MND (島田) 9:00 BAPELKES-MND 11:00 PLN	関連施設の視察 建設事情調査 (現地施工業者)  CX718: 別調査移動  建設事情調査 (建設資材調達) (Ms. Henny)  詳細協議 (設備関係)

No	月日	行程	業務の概要
15.	7月6日 日曜日	(波多野) ジャカルタ(07:00)- マナド(13:00)  マナド	GA 730 : マナドへの移動  団内打ち合わせ、資料整理
16.	7月7日 月曜日	マナド 9:00 BAPELKES-MND  (三好) マナド(14:00)- ウジュンバンダン(15:35)	最終打ち合わせ・総括協議 (施設計画、設備計画、「イ」国側による予算 および分配 : BAPELKES-MND)  GA741 : ウジュンバンダンへの移動
17.	7月8日 火曜日	(波多野、中村、島田、佐々) マナド (08:00)- パル (10:45)  パル 14:30 BAPELKES-PAL  ウジュンバンダン (三好) KANWIL and BAPELKES-UPD	BO444 : パルへの移動  関連施設視察 打ち合わせ (BAPELKES-PALのスタッフ)  協議 (設備、カリキュラム) 建設事情調査 (機材調達)
18.	7月9日 水曜日	パル (波多野、中村、島田、佐々) 8:30 KANWIL-PAL PAL (13:00)- UPG (13:55)  ウジュンバンダン (三好) (全団員) 16:30 Victoria Hotel	表敬訪問、打ち合わせ (KANWIL-PALスタッフ、BAPELKES-PALスタッフ) BO492 : ウジュンバンダンへの移動  建設事情調査 (機材調達)  打ち合わせ (KANWIL-UPDとBAPELKES-UPDのスタッフ)
19.	7月10日 木曜日	(波多野、島田、佐々) ウジュンバンダン(09:15)- ケンダリ(10:05) 11:00 BAPELKES-KDR  ウジュンバンダン (三好、中村)	SG850 : ケンダリへの移動 関連施設視察 (BAPELKES-KDR) 打ち合わせ (BAPELKES-KDRとKANWIL-KDRのスタッフ)  サイト視察 建設事情調査 (建設資機材調達)
20.	7月11日 金曜日	ケンダリ 08:00 KANWIL KDR ケンダリ(10:30)- ウジュンバンダン (11:20) ウジュンバンダン (中村、三好) 午前 BAPELKES-UPD  (波多野、中村、島田、佐々) 14:30 BAPELKES-UPD (三好) 14:00 KANWIL-UPD	表敬訪問、打ち合わせ (KANWIL-KDRの役人) SG855 : ウジュンバンダンへの移動  打ち合わせ (BAPELKES-UPD) 建設事情調査 (建設資機材調達)  サイト視察  詳細協議 (カリキュラム、機材等について)



No	月 日	行 程	業 務 の 概 要
21.	7月12日 土曜日	ウジュンパンダン (波多野) UPD (10:35) - CGK (11:45)  (その他団員) 9:00 BAPELKES-UPD (三好) ウジュンパンダン (16:35) - ジャカルタ (17:45)	GA737: ジャカルタへの移動 打ち合わせ  打ち合わせ (BAPELKES-UPD)  GA741: ジャカルタへの移動 建設事情調査 (建設資機材調達)
22.	7月13日 日曜日	ジャカルタ ウジュンパンダン	団内打ち合わせ、資料整理
23.	7月14日 月曜日	ジャカルタ (波多野、三好) 9:00 Victoria Hotel  ウジュンパンダン (中村、佐々) 9:00 PP事務所 10:00 CIPTAKRYA 事務所 10:30 TATAKOTA事務所 11:00 BAPELKES-UPD 16:00 PT. ADHI KARYA (島田) 8:30 PLN事務所 10:00 TELKOM 11:30 PDAM 13:00 日水コン 10:00 TATAKOTA事務所 11:00 BAPELKES-UPD 15:30 PP事務所  17:00 Victoria Hotel	打ち合わせ (Mrs. Eudang, MOH. and Dr. Djoko, Mrs. Haryati, CET) 建設事情調査 (建設資機材調達) 建設事情調査 (建設資材) 協議 (マスタープラン)  建設事情調査 (建設資材) 協議 (マスタープラン) 協議 (建築基準等の確認) 協議 (施設計画内容) 建設事情調査 (建設資材)  協議 (電気供給: PLN) 協議 (電話線: TELKOM) 協議 (水道: PDAM) 打ち合わせ、協議 (水道供給のマスタープラン: 日水コン)  打ち合わせ (KAWIL, BAPELKES-UPD) 建設事情調査 (建設資機材調達) 打ち合わせ、協議 (「イ」国側担当部分について: KAWIL, BAPELKES-UPD)
24.	7月15日 火曜日	ジャカルタ (波多野、三好) ウジュンパンダン (中村、島田、佐々) 9:00 BAPELKES-UPD 11:00 KANWIL-UPD  ウジュンパンダン (16:35) - ジャカルタ (17:45)	建設事情調査 (建設資機材調達)  打ち合わせ (: ローカルコンサルタント) 最終打ち合わせ及び協議 (施設計画、「イ」国担当部分 : KAKANWIL) GA741: ジャカルタへの移動
25.	7月16日 水曜日	ジャカルタ 16:00 BAPPENAS事務所	団内打ち合わせ、資料整理 最終打ち合わせ及び協議 (「イ」国側予算: Dr. Marhini/BAPPENAS, Mrs. Endang/MOH, Dr. Djoko, Mrs. Haryati/CET.)
26.	7月17日 木曜日	ジャカルタ	団内打ち合わせ、資料整理

No	月 日	行 程	業 務 の 概 要
27.	7月18日 金曜日	ジャカルタ 11:00 JICA事務所 14:00 日本大使館	調査結果報告 調査結果報告
28.	7月19日 土曜日	ジャカルタ ジャカルタ(23:30)-	関連施設視察 建設事情調査(建設資機材調達) JL726: 帰国移動
29.	7月20日 日曜日	- 成田 (08:30)	帰国

[2] 基本設計概要説明(1997年9月7日～9月21日)

日順	月日	行程	業務の概要
1.	9月7日 (日)	<波多野> 成田 (10:50) - ジャカルタ (16:05) JL725	
2.	9月8日 (月)	ジャカルタ	ローカルコンサルタントとの打合せ 建設資材調達調査
3.	9月9日 (火)	<石岡、藤田、三好、島田、佐々> 成田 (10:50) - ジャカルタ (16:05) JL725 <波多野>	ローカルコンサルタントとの打合せ 建設資材調達調査
4.	9月10日 (水)	ジャカルタ 9:00 JICAインドネシア事務所 11:00 CETHP  ジャカルタ (17:20) - ウジュンバンダン (20:50) SG412	表敬訪問、打合せ (諏訪氏、片山氏) 表敬訪問、打合せ (Dr. Surono and other staff of CETHP, Ms. Farida, 柏木氏)
5.	9月11日 (木)	ウジュンバンダン 9:00 KANWIL-UPD  11:30 BAPELKES-UPD	表敬訪問、打合せ (Mr. Andi, Mr. Asrori from KANEIL-UPD 平林氏) 表敬訪問、打合せ (Dr. Salahuddin, Head of BAPELKES, and officials from; - CETHP - KANWIL-UPD - BAPELKES-UPD)
6.	9月12日 (金)	ウジュンバンダン 9:00 KANWIL-UPD  ウジュンバンダン (11:20) - マナド (13:00) GA740 16:00 KANWIL-MND	協議 (Officials from KANWIL and BAPELKES-UPD)  表敬訪問、打合せ (Officials from: - 保健省計画局 - CETHP - KANWIL-MND - BAPELKES-MND)
7.	9月13日 (土)	マナド 9:00 KANWIL-MND  <石岡、藤田> 11:00 KANWIL-MND  14:00 BAPELKES-MND	協議 (Officials from MOH, CETHP, KANWIL and BAPELKES-MND.)  スラウェシ地域保健強化プロジェクトに関するハンドオーバー セレモニー 協議 ( Dr. Hanneke, Head of BAPELKES-MND and other staff.) サイト調査
8.	9月14日 (日)	マナド	団内打合せ、資料整理

日順	月日	行程	業務の概要
9.	9月15日 (月)	マナド 9:00 BAPELKES-MND 14:00 BAPELKES-MND 18:30 TOPIHILL	水道整備調査 打合せ (Dr. Hanneke and other staff from CETHP) 打合せ (Officials from BAPELKES-MND)
10.	9月16日 (火)	マナド 10:30 KANWIL-MND マナド (14:00)・ジャカルタ (17:45) GA741	打合せ (Officials from KANWIL-UPD and BAPELKES-MND)
11.	9月17日 (水)	ジャカルタ 11:00 保健省計画局  < 佐々 > ジャカルタ (23:30) JL726 →成田	ミニッツに関する協議 (Officials from - 保健省 - CETHP - KANWIL-MND) 帰国移動
12.	9月18日 (木)	ジャカルタ	社内打合せ、資料整理
13.	9月19日 (金)	ジャカルタ 9:00 保健省計画局  11:00 JICAインドネシア事務所 < 石岡、藤田 > ジャカルタ (23:30) JL726 →成田	ミニッツ調印 (Dr. Hidayat, 石岡氏) (with attendance of Mrs. Farida from MOH, Dr. Surono and other staff from CETHP, 平林医師、柏木医師、片山氏) 諏訪氏、片山氏へ調査結果報告 帰国移動
14.	9月20日 (土)	< 波多野、三好、島田 > ジャカルタ (23:30) JL726 →	ローカルコンサルタントとの打合せ 建設資機材調達調査 帰国移動
15.	9月21日 (日)	→ 成田(8:30)	

## [1] 基本設計調査(1997年6月22日～7月20日)

1. 在インドネシア日本国大使館  
宇津 しのぶ : 二等書記官
2. 在ウジュンバンダン日本国総領事館  
田子内 進 : 副領事
3. 在ジャカルタ JICA 事務所  
佐々木 弘世 : 次長  
片山 裕之 : 所員
4. JICA 派遣専門家  
柏樹 悦郎 : Health Project Management Adviser  
平林 国彦 : Leader of the Project for Improvement  
District Health Services
5. BAPPENAS (Social Welfare Health & Nutrition Bureau : KSKG)  
Dr. Triono : Director of KSKG  
Dr. Marthini Budi Salijo MPH. : Staff of KSKG  
Mr. Dadang Rizki Fatman SH, MPA : Staff of KSKG  
Mr. Ariian AT : Staff of KSKG
6. Ministry of Health, Bureau of Planning  
Badi, S. Argadiredja, MD, DTM&H, MPH : Chief of Bureau of Planning  
Ms. Farida Djoko : Staff of Bureau of Planning  
Ms. Endang Siswati : Staff of Bureau of Planning  
Dr. Mawaruati : Staff of Bureau of Planning
7. Center for Education and Training of Health Personnel (CETHP)  
Dr. Suroho : Director of CETHP  
Dr. Djoko Dwijanto :  
Ms. Haryati Pusklat : Staff of CETHP
8. BAPELKES, Cilandak Jakarta  
Dr. H. Tjutjun Maksum, MPH : Director of BAPELKES- Cilandak

**9. KANWIL, Ujung Pandang (Province Health Office, South Sulawesi)**

- Dr. H. Burmanuddin Yusuf D'TM&H** : **Head of KANWIL - UPD**  
**Dr. Satria Taifur** : **Administration Coordinator**  
**Dr. Asrozi Asnawi, MPH** : **Chief of Health Manpower Division**  
**Dr. Andi Muhndir, MPH** : **Chief of Program Planning & Evaluation, Division**  
**Drs. A. Manan Syamsudin** : **Head of Food & Pharmacy Division**  
**Nurhayah Penni** : **SKM Staff**  
**Mr. Utik Mandsawati** : **HPP**

**10. BAPELKES, Ujung Pandang**

- Dr. Salahuddin Palloge, MPH** : **Head of BAPELKES- UPD**  
**Dr. Djohan Kurnia, MD, MPH** : **Trainer of BAPELKES- UPD**  
**Ms. Johana J. Sarra** : **Trainer of Health Administration**  
**Drs. Welem Sande. T, MKN** : **Trainer of Public Health**  
**Dr. H. Resmiaty L.D., SKM** : **Head of Administration Division**  
**Mr. Mappedasse, SKM** : **Chief of Program Operational Division**  
**Ms. Masrida Baharuddin, SKM** : **Staff of Operational Division**  
**Mr. Zakariah M.** : **Administration Staff / Equipment**  
**Mrs. Mappedati Nyorong** : **Consultant of BAPELKES - UPD**

**11. KANWIL, Manado**

- Dr. Sven A. Tandayu, SKM** : **Head of KANWIL - MND**  
**Dr. Willy E. Kalalo MAH** : **Administration Coordinator, Chief of Planning Division**  
**Dra. Evie. Rondonuwa** : **Public Relation / Chief of Administration Division**

**12. BAPELKES, Manado**

- Dr. Hanneke Pasla Wullur** : **Head of BAPELKES - MND**  
**Dr. H.S. BATUNA** : **Trainer**  
**Dr. F. Sugengp. MHA** : **Trainer**  
**Dr. Nico Gumansalangi** : **Trainer**  
**Drs. Tuwaidan Eddy** : **Trainer**  
**Dr. Y. Bukarakombang** : **Trainer**  
**Ms. Anoy Rasmawati, SKM** : **Staff**  
**Ms. Elisabeth Kawatu, BA** : **Administration Staff**

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| Ms. Lefina A. Gerungan, AMK        | : Staff (Nurse)   |
| Ms. Ny. S. Tarimalianto            | : Administration Staff (Project Budget)   |
| Ms. Hartin S. Alim                 | : Administration Staff (Routine Budget)   |
| Ms. Dian Erawaty, SKM              | : Staff   |
| Ms. Esther J. Tatuil               | : Staff   |
| Mr. Suhaimi Abdulsalam             | : Staff   |
| Dr. Bonny Kalensang                | : In charge of planning of equipment<br>(860686) Kepala BAPELKES - MND                          |
| Ms. Dian Erawaty, SKM              | : Staff   |
| <br>                               |   |
| <b>13. DINAS KESEHATAN, Manado</b> |   |
| Dr. F. Loprang                     | : Chief of PsM  |
| <br>                               |   |
| <b>14. KANWIL, Palu</b>            |   |
| Dr. T.I. Miting, MPH               | : Chief of Territorial Health Efforts<br>Division   |
| Mr. Martahan, Sitorus, SKM         | : Occupation Health & Safety<br>Nutritionist  |
| <br>                               |   |
| <b>15. BAPELKES, Palu</b>          |   |
| Dr. Susilo Budi Santoso, SKM       | : Head of BAPELKES - Palu   |
| Dr. Martahan Sitorus, SKM          | : Head of Operational Affair / Training<br>Program/Occupational Health & Safety<br>Nutritionist |
| Mr. Lahmuddin Mustaqim             | : Trainer   |
| Mr. Misra Saulaiman                | : Chief of Administration Division  |
| Mr. Hasran                         | : Equipment Coordinator, Maintenance<br>for Building and Equipment                              |
| Mr. Arifudin                       | : Staff   |
| Mr. Ruslin C. Lainti               | : Staff   |
| <br>                               |   |
| <b>16. KANWIL, Kendari</b>         |   |
| Dr. Takahashi Rahmani MPH          | : Head of KANWIL - Kendari  |
| Ms. Haslinda M. Kes                | : Chief of Administration   |
| <br>                               |   |
| <b>17. BAPELKES, Kendari</b>       |   |
| Dr. H. Makkaramm                   | : Chief of BAPELKES - Kendari   |
| Drs. Ismail Dramil, TKM            | : Chief of Administration Division  |

18. PT. PLN (PERSERO) WILAYAH VIII Cabang Ujung Pandang  
 Mr. M. Iman Agus Prayitno : Rayon UP. Selatan
19. PDAM ( PERUSAHAAN DAERAH AIR MINUM, Kotamadya Ujung Pandang)  
 Mr. M. Riefad Suaib : Managing Director  
 Ir. H. Hilal Yunus : Director of Technical Unit
20. TELCOM (Kandatel Ujung Pandang)  
 Mr. Noufal : Chief of Technical Unit
21. Nihon Suido Consultants Co.,Ltd.  
 Mr. Hideki. Asada : Team Leader of Nihon Suido  
 Consultants, Ujung Pandang Water  
 Supply Development Project
22. PT. PLN (PERSERO) , Wilayah VI Cabang Manado  
 Mr. Victor. I. Monintja, BE : Chief of Distribution Design Section  
 Mr. Polche Eindah : Staff of Distribution Design Section
23. PDAM (PERUSAHAAN DAERAH AIR MINUM, Kotamadya Daerah Tingkat II,  
 Manado)  
 Mr. Jan Wawo, BE : Assistant of Technical Section
24. TELCOM (PT.Telekomunikasi Indonesia), Manado  
 Mr. Elvizar KH. : Chief of Marketing Unit  
 Mr. Pactrice Lumumba K. Beslar : Staff of Marketing Unit  
 Mr. Edi Saputra : Staff of Marketing Unit
25. PT. ELKANA PRIMA CONST.( Consultant for the Construction of Staff House)  
 Mr. Arie Kalalo : Lecture of Polytechnic  
 Mr. Denny Lumi : Electrical Engineer
26. PT. ASANA Citra Yasa  
 Ir. Nugrahadjati : Architect



[2] 基本設計概要説明 (1997年9月7日~9月21日)

1. 在インドネシア日本国大使館  
宇津 しのぶ : 二等書記官
  
2. 在ジャカルタ JICA 事務所  
諏訪 龍 : 所長  
片山 裕之 : Assistant Resident Representative
  
3. JICA 派遣専門家  
柏樹 悦郎 : Health Project Management Advise  
平林 国彦 : Leader of the Project for Improvement District Health Services
  
4. Ministry of Health  
Dr. hidayat Hardjoprawito : Secretary General
  
5. Ministry of Health, Bureau of Planning  
Badi, S. Argadiredja, MD, DTM&H, MPH : Chief, Bureau of Planning  
Ms. Farida Djoko : Staff
  
6. Center for Education and Training (CET)  
Dr. Surono : Director of CET  
Drg. Eddie Naydial R, MscPH : Chief of Program Section  
Dr. Djoko Dwijanto : Chief of Training Section  
Ms. Haryati Pusediklat : Staff
  
7. Kanwil, Ujung Pandang (Provincial Health Office, South Sulawesi)  
Dr. H. Burmanuddin Yusuf DTM&H : Head of Kanwil  
Dr. Satria Taifur : Administration Coordinator  
Dr. Asrori Asnawi, MPH : Chief, Health Personnel Division  
Dr. Andi Muhndir, MPH : Chief, Health Program Building Division  
Ms. Nur Shanty : Chief of Planning section

8. **BAPELKES, Ujung Pandang**
- |                             |                                       |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| Dr. Salahuddin Palloge, MPH | : Head of Bapelkes - UPD              |
| Dr. Djohan Kurnia, MD, MPH  | : Trainer                             |
| Ms. Johana J. Sarra         | : Trainer, Health Administration      |
| Dr. Jasmin An               | : Trainer                             |
| Dr. H. Resmiaty L.D., SKM   | : Head of Administration Division     |
| Mr. Mapeasse, SKM           | : Chief, Program Operational Division |
| Ms. Masrida Baharuddin, SKM | : Staff of Operational Division       |
| Mr. Zakariah M.             | : Administration Staff/Equipment      |
9. **KANWIL, Manado**
- |                         |  |
|-------------------------|--|
| Dr. F.J.O. Pelealu, MPH | : Chief of Administration                                |
| Dr. Willy E. Kalalo MAH | : Administration Coordinator, Chief of Planning Division |
10. **BAPELKES, Manado**
- |                          |   |
|--------------------------|---|
| Dr. Hanneke Pasla Wullur | : Head of BAPELKES - MND                |
| Dr. F. Sugeng. MHA       | : Trainer                               |
| Ms. Anoy Rasmawati, SKM  | : Staff                                 |
| Ms. Elisabeth Kawatu, BA | : Administration Staff                  |
| Ms. Ny. S. Tarimalianto  | : Administration Staff (Project Budget) |
| Ms. Hartin S. Alim       | : Administration Staff (Routine Budget) |

国名	インドネシア共和国
	Republic of Indonesia

一般指標				
政体	共和制	*1	首都	ジャカルタ
元首	President Gen. SOEIHARTO	*1	主要都市名	スラバヤ、ワグン、パナムン
独立年月日	1945年08月17日	*1	経済活動可人口	89,000千人 (1994年)
人種(部族)構成	ジャバ族45%、スンダ族14%、その他	*4	義務教育年数	6年間 (1996年)
			初等教育就学率	97.0% (1994年)
言語・公用語	インドネシア語、英語、蘭語、ジャバ語	*1	初等教育終了率	77.0% (1990年)
宗教	回教87%	*1	識字率	82.9% (1993年)
国連加盟	1950年09月	*2	人口密度	111.46人/Km <sup>2</sup> (1995年)
世銀・IMF加盟	1954年04月	*3	人口増加率	1.56% (1995年)
			平均寿命	平均61.22 男59.13 女63.42
			5歳児未満死亡率	111 /1000 (1994年)
面積	1,919.44千Km <sup>2</sup>	*4	加一供給量	2,755.0cal/日/人 (1992年)
人口	203,583.9千人 (1995年)	*4		

経済指標				
通貨単位	ルピア	*1	貿易量	(1995年)
為替レート(1US\$)	1US\$= 2,396.0 (1月)	*6	輸出	45,417.0百万ドル
会計年度	4月～ 3月	*1	輸入	40,918.0百万ドル
国家予算	(1993年)	*6	輸入比率	3.0% (1994年)
歳入	26,983.9 百万ドル	*6	主要輸出品目	石油、天然ガス、木材、衣類
歳出	26,344.2 百万ドル	*6	主要輸入品目	機械、石油製品、工業製品
国際収支	784.00 百万ドル (1995年)	*6	日本への輸出	14,214.0百万ドル (1995年)
ODA受取額	1,642.00 百万ドル (1994年)	*8	日本からの輸入	9,971.0百万ドル (1995年)
国内総生産(GDP)	174,640.00 百万ドル (1994年)	*8		
一人当たりGNP	880.0 ドル (1994年)	*8	外貨準備総額	18,251.0百万ドル (1996年)
GDP産業別構成	農業 17.0% (1994年)	*8	対外債務残高	14,792.0百万ドル (1994年)
	鉱工業 41.0% (1994年)		対外債務返済率	30.0% (1994年)
	サービス業 42.0% (1994年)		インフレ率	19.3% (1993年)
産業別雇用	農業 55.0% (1990年)	*5		
	鉱工業 14.0% (1990年)			
	サービス業 31.0% (1990年)		国家開発計画	第5次開発5ヵ年計画 89/90～93/94
経済成長率	7.6% (1994年)	*8		

気象(1961年～1990年平均) 場所: Jakarta		(標高 8m)											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	29.0	29.0	30.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	30.0	29.0	30.3℃
最低気温	23.0	23.0	23.0	24.0	24.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.1℃
平均気温	26.3	26.5	26.9	27.5	27.7	27.3	27.1	27.1	27.5	27.7	27.4	26.8	27.2℃
降水量	300.0	300.0	211.0	147.0	114.0	97.0	64.0	43.0	66.0	112.0	142.0	203.0	1,799.0 mm
雨期/乾期	雨	雨	雨									雨	

\*1 CIA World Fact book(1993)

\*2 States Member of the United Nations

\*3 World Bank Fax(1994)

\*4 CIA World Fact Book(1996-1997)

\*5 Human Development Report(1996)

\*6 International Financial Statistics

\*7 Statistical Yearbook 1996

\*8 World Development Report(1996)

\*9 World Debt Tables (1996)

\*10 世界の国一覽(外務省外務報道官編集)(1996)

\*11 最新世界各国要覧(1996)

\*12 理科年表1997(丸善)

国名	インドネシア共和国
	Republic of Indonesia

1997.03 2/2

\*13

項目	年度	1990	1991	1992	1994
技術協力		2,382.47	2,515.30	2,699.97	3,087.67
無償資金協力		1,989.63	2,050.70	2,194.95	2,456.48
有償資金協力		5,676.39	7,364.47	5,852.05	4,352.21
総 額		10,048.49	11,930.47	10,746.97	9,896.36

\*14

項目	歴年	1991	1992	1993	1994
技術協力		133.07	141.72	157.93	177.69
無償資金協力		79.73	85.73	67.61	72.28
有償資金協力		852.71	1,129.26	923.35	636.20
総 額		1,065.51	1,356.71	1,148.89	886.17

\*15

	贈 与 (1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府資金 及び民間資金 (4)	経済協力総額 (3) + (4)
		技術協力				
二国間援助 (主要供与国)	640.90	385.10	1,330.50	1,971.40	422.80	2,394.20
1. 日本	227.50	141.70	1,129.30	1,356.80	0.00	1,356.80
2. ドイツ	64.30	50.30	52.00	116.30	153.20	269.50
3. オーストラリア	77.00	36.00	0.00	77.00	107.50	184.50
4. フランス	14.80	13.80	154.00	168.80	0.00	168.80
多国間援助 (主要援助機関)	88.10	51.80	32.30	120.40	782.00	902.40
1. ASDB	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2. UNDP	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ の 他	5.50	0.00	7.50	13.00	0.00	13.00
合 計	734.50	436.90	1,370.30	2,104.80	1,204.80	3,309.60

\*15

技術	関係各省庁機関→対外経済関係省
無償	関係各省庁機関→対外経済関係省
協力隊	関係各省庁機関→対外経済関係省

\*13 Geographical Distribution of Financial Flows of Developing Countries(1996)

\*14 Japan's Official Development Assistance Annual Report (1995)

\*15 国別協力情報(JICA)

MINUTES OF DISCUSSIONS  
ON  
BASIC DESIGN STUDY  
ON  
THE PROJECT FOR HEALTH MANPOWER TRAINING INSTITUTION DEVELOPMENT  
AT NORTH SULAWESI AND SOUTH SULAWESI  
IN  
THE REPUBLIC OF INDONESIA

In response to a request from the Government of the Republic of Indonesia, the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Project for Health Manpower Training Institution Development (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the study to Japan International Cooperation Agency (JICA).

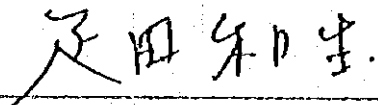
JICA dispatched to Indonesia a study team which is headed by Dr. Kazuo Hikita, Bureau of International Cooperation, International Medical Center of Japan, Ministry of Health and Welfare, and which was scheduled to stay in the country from June 22 to July 19, 1997.

The Team has had a series of discussions with relevant officials of the Government of Indonesia and conducted site survey.

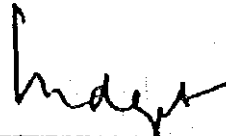
In the course of discussions and site survey the team and Indonesian side have confirmed basic issues described in attached sheets.

The team will proceed to further works and prepare the Basic Design Study Report.

Jakarta, July 3, 1997



Dr. Kazuo Hikita  
Leader  
Basic Design Study Team  
Japan International Cooperation Agency



Dr. Hidayat Hardjoprawito  
Secretary General  
Ministry of Health  
Government of the Republic of Indonesia

## ATTACHMENT

### 1. Objective

The objective of the Project is to improve the function of training centers at North Sulawesi and South Sulawesi by construction of facilities and procurement of equipment.

### 2. Project site

The Project sites are located

- 1) at the existing BAPELKES Manado, North Sulawesi, and
- 2) at the existing BAPELKES Ujung Pandang, South Sulawesi.

These Project sites are shown in ANNEX-I.

### 3. Responsible and Executing Agencies

Ministry of Health is responsible for the administration of the Project and Secretary General of Ministry of Health is responsible for the execution of the Project.

### 4. Items requested by the Government of Indonesia

- 1) Construction of the facilities as described in ANNEX-II was finally requested by the Government of Indonesia.
- 2) Provision of the equipment as described in ANNEX-III was finally requested by the Government of the Indonesia.

However, the final components of the Project will be decided after further studies.

### 5. Japan's Grant Aid System

- (1) The Government of Indonesia has understood the system of Japan's Grant Aid explained by the team. (See ANNEX-IV)
- (2) The Government of Indonesia will take necessary measures, described in Annex-V for smooth implementation of the Project on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

### 6. Schedule of the study

- (1) The team will proceed to further study in Indonesia until July 19, 1997.
- (2) JICA will prepare a draft of the basic design and dispatch a mission to Indonesia in order to explain its contents in September 1997.

### 7. Other relevant issues

- (1) For smooth operation and administration of both BAPELKES, Ujung Pandang and Manado, Indonesian side agreed to allocate necessary budgets by the time of commencement of the operation of new buildings.

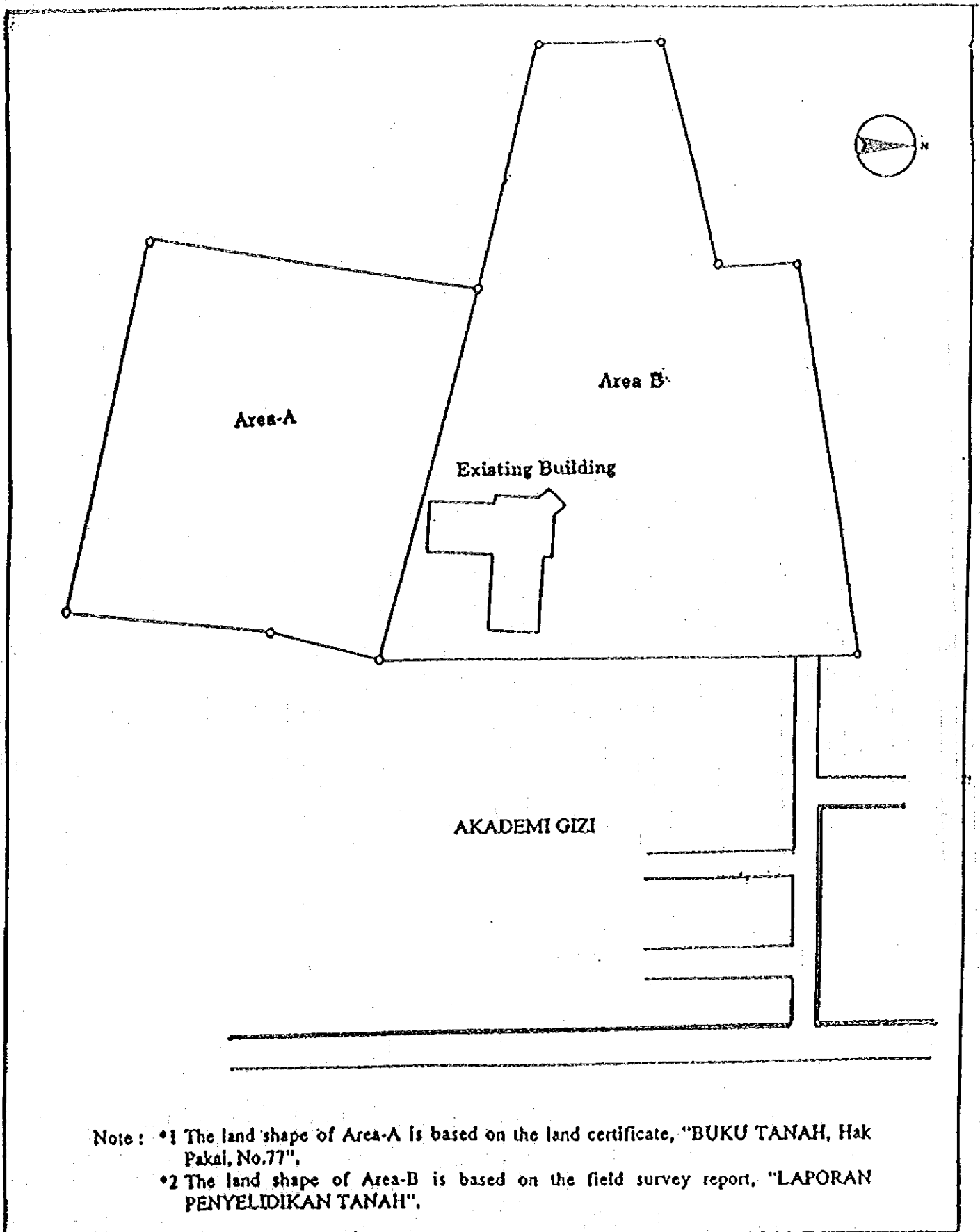
(2) The KANWIL in North Sulawesi Province agreed that the land shown in ANNEX-I will be used for the facilities of BAPELKES Manado. (See ANNEX-VI)

(3) For BAPELKES Manado, it is confirmed by both sides that Indonesian side will guarantee following matters:

- 1) To use the present access road through Akademi GIZI as a construction road as well as a permanent access road to the site.
- 2) To demolish and repair the existing fence and to construct necessary fence in accordance with the basic design of Japan's Grant Aid.
- 3) To clear and level the land before the commencement of the construction works under the Japan's Grant Aid.
- 4) To avoid any trouble with the neighboring residents for the Project.
- 5) To construct staff house by Indonesian side in accordance with the layout plan of the basic design of Japan's Grant Aid.

(4) For BAPELKES Ujung Pandang, it is confirmed by Indonesian side that a water tank car is not necessary because the public city water pipe has already been installed to BAPELKES Ujung Pandang, and the water will be supplied by next year.

1) Project site of BAPELKES Manado , North Sulawesi



Note : \*1 The land shape of Area-A is based on the land certificate, "BUKU TANAH, Hak Pakai, No.77".  
\*2 The land shape of Area-B is based on the field survey report, "LAPORAN PENYELIDIKAN TANAH".

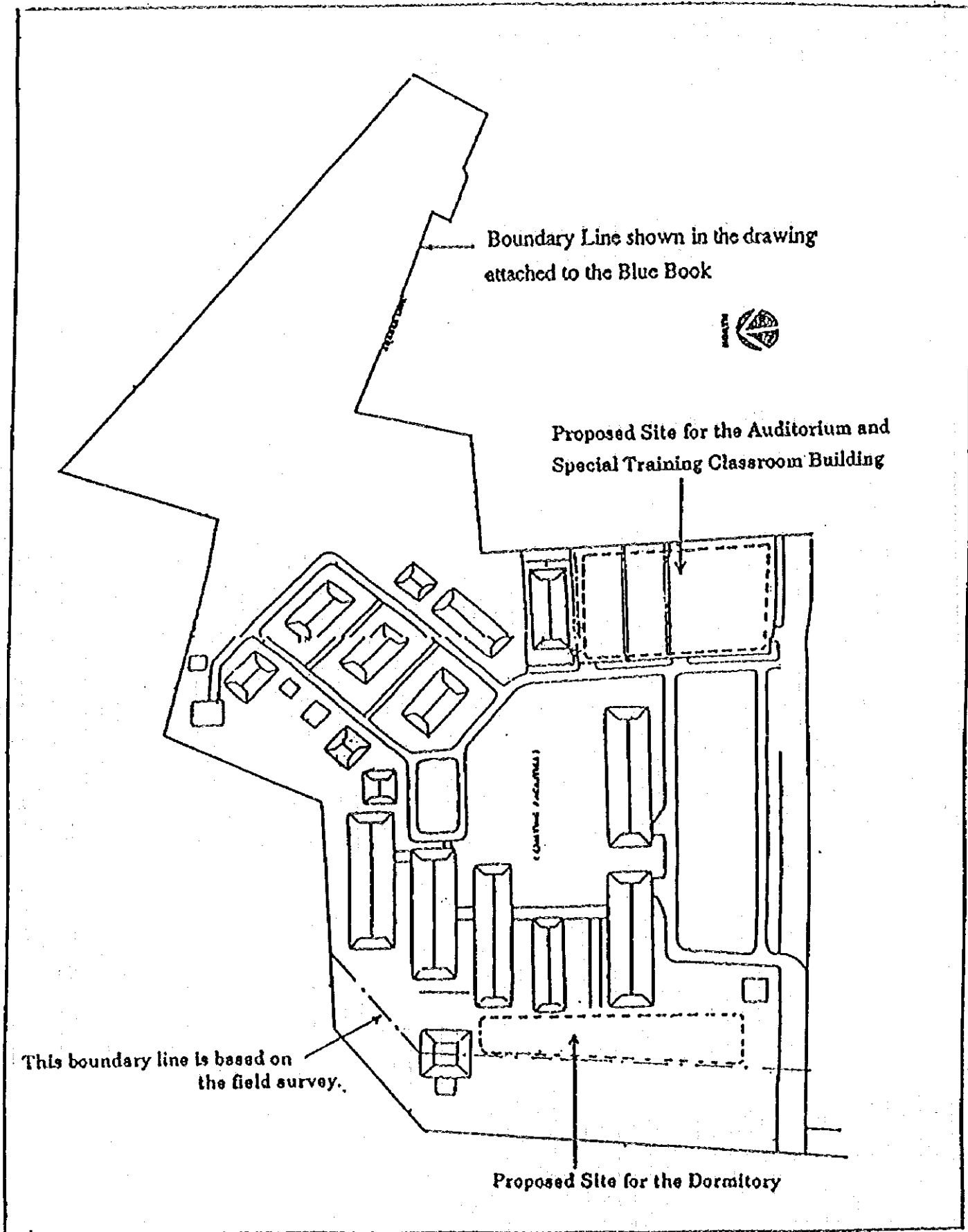
Source : BAPELKES Manado

Handwritten signature or initials.

Handwritten signature or initials.



2) Project site of BAPELKES Ujung Pandang , South Sulawesi



\* Source: BAPELKES Ujung Pandang

*Handwritten signature*

04/11

ANNEX-II

REQUESTED FACILITIES FOR THE PROJECT

1. South Sulawesi

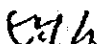
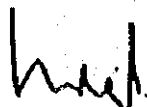
- 1) Auditorium
- 2) Special Training Classroom
- 3) Dormitory

2. North Sulawesi

- 1) Training Facility
  - ① Classroom
  - ② Special Training Classroom
  - ③ Library
  - ④ Administration Office
- 2) Auditorium
- 3) Dormitory
- 4) Dining Room

Note 1. Both sides confirm that each facilities mentioned above includes the related common spaces such as corridors storage, toilets, machine room, the necessary utilities such as electricity, water supply, sewage, telecommunication, etc. The details of such common spaces and utilities will be discussed further between the Japanese and Indonesian side.

2. The size and capacity of facilities will be determined after further studies.



ANNEX-III Equipment List

North Sulawesi (Manado)

No.	Name of Equipment	Priority
<b>I. Audio Visual Aid/Equipment</b>		
NAV-1	Video Casset Recorder	B
2	Video Camera and Lighting	B
3	Screen	A
4	Radio Cassette Recorder	C
5	Cassette Audio Reproduction	C
6	Cassette Video Reproduction	C
7	Photo Camera	A
8	Slide Projector	A
9	Data Board	A
10	Sound System	A
11	Overhead Projector	A
12	Whiteboard	A
13	Flipchart Stand	C
14	Sound System Portable Wireless	A
15	Green Board	B
16	Television Monitor	A
<b>II. Office Equipment</b>		
NOE-1	Typewriter	B
2	Electric duplicator	B
3	Cabinet & Lack	A
4	Desk & chair	A
5	White board	B
6	Photocopy machine	A
7	Cutting/Binding machine	A
<b>III. Trainer/Widyaiswara Equipment</b>		
NTR-1	Desk and chair	A
2	Cabinet & Rack	A
3	Whiteboard	A
<b>IV. Classroom Equipment</b>		
NCE-1	Desk & Chair	A
2	Whiteboard	A
3	Flipchart stand	C
<b>V. Special Training Room Equipment</b>		
a. Special Training Room		
NST-1	Personal computer + printer	A
2	Scanner	A
3	Computer projector	B

*had*

b. Simulation Training Room

NSM-1 Midwife phantom	A
2 Delivery demonstration equipment	A
3 Weighting scale for baby	B
4 Stethoscope	C
5 Midwife Kit	A
6 Perinatal Kit	B
7 Resuscitator	B
8 Infant Incubator	B
9 Sterilizer	B
10 Male figure	A
11 Female figure	A
12 Human torso and head models	A
13 Heart models	A
14 Baby doll	A
15 Desk & Chair	A

VI. Auditorium Equipment

NAE-1 Desk & Chair	A
--------------------	---

VII. Dormitory Equipment

NDE-1 Bed set	A
2 Rocker	A
3 Desk & Chair	A
4 Television	B
5 Table lamp	B
6 Heavy duty washing machine	B

VIII. Dining Room Equipment

NDR-1 Table & Chair	A
---------------------	---

IX. Kitchen Equipment

NKE-1 Heavy duty freezer	A
2 Gas stove	A
3 Rice Cooker	A
4 Cooking Set	A

X. Transportation

NTP-1 Minibus 20 to 30 seats	B
2 Minibus 7 to 8 seats	B
3 Motorcycle	C

XI. Library Room Equipment

NLR-1 Reading Desk & Chair	A
2 Desk & Chair	A
3 Cabinet & Rack	A
4 Photocopy Machine	B

(Note: A=1st Priority B=2nd Priority C=3rd Priority)

*Handwritten signature*

*Handwritten initials*

South Sulawesi(Ujung Pandang)

No.	Name of Equipment	Priority
<b>I. Audio Visual Aid/Equipment</b>		
SAV-1	Video Casset Recorder	A
2	Video Camera and Lighting	A
3	Screen	A
4	Radlo Cassette Recorder	B
5	Cassette Audio Reproduction	B
6	Cassette Video Reproduction	B
7	Photo Camera	A
8	Slide Projector	A
9	Electric Data Board	C
10	Data Board	A
11	Sound System	A
12	Overhead Projector	A
13	Whiteboard	A
14	Flipchart Stand	B
15	Sound System Portable Wireless	A
16	Green Board	A
17	Television	A
18	Close Circuit Television (CCTV)	B
<b>II. Office Equipment</b>		
SOE-1	Photocopy machine	A
2	Cutting/Binding machine	A
<b>III. Special Training Room Equipment</b>		
<b>a. Special Training Room</b>		
SST-1	Personal computer + printer	A
2	Scanner	A
3	Computer projector	B
<b>b. Simulation Training Room</b>		
SSM-1	Midwife phantom	A
2	Delivery demonstration equipment	A
3	Weighting scale	B
4	Weighting scale for baby	A
5	Stethoscope	A
6	Midwife Kit	A
7	Perinatal Kit	B
8	Resuscitator	B
9	Infant Incubator	B
10	Sterilizer	B
11	Male figure	A
12	Female figure	A
13	Human torso and head models	A
14	Heart models	A
15	Baby doll	A

**IV. Auditorium Equipment**

**SAE-1 Desk & Chair**

**A**

**V. Dormitory Equipment**

**SDE-1 Bed set**

**A**

**2 Locker**

**A**

**3 Desk & chair set**

**A**

**4 Television**

**B**

**5 Table lamp**

**B**

**6 Heavy duty washing machine**

**B**

**VI. Transportation**

**STP-1 Minibus 20 to 35 seats**

**B**

**2 Minibus 7 to 8 seats**

**B**

**3 Motorcycle**

**C**

**(Note: A=1st Priority B=2nd Priority C=3rd Priority)**

*hand*

*dal*

ANNEX-IV  
JAPAN'S GRANT AID PROGRAM

1. Japan's Grant Aid Procedures

- (1) The Japan's Grant Aid Program is executed by the following procedures.
- Application (Request made by a recipient country)
  - Study (Preliminary Study / Basic Design Study conducted by JICA)
  - Appraisal & Approval (Appraisal by the Government of Japan and Approval by the Cabinet of Japan)
  - Determination of Implementation (Exchange of Notes between the both Governments)
  - Implementation (Implementation of the Project)

(2) Firstly, an application or a request for a project made by the recipient country is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid. If the request is deemed suitable, the Government of Japan entrusts a study on the request to JICA (Japan International Cooperation Agency).

Secondly, JICA conducts the Study (Basic Design Study), using a Japanese consulting firm. If the background and objective of the requested project are not clear, a Preliminary Study is conducted prior to a Basic Design Study.

Thirdly, the Government of Japan appraises the Project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Program, based on the Basic Design Study report prepared by JICA and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the Project approved by the Cabinet becomes official when pledged by the Exchange of Notes signed by the both Governments.

Finally, for the implementation of the Project, JICA assists the recipient country in preparing contracts and so on.

## 2. Contents of the Study

### 1) Contents of the Study

The purpose of the Study (Preliminary Study / Basic Design Study) conducted on a project requested by JICA is to provide a basic document necessary for appraisal of the project by the Japanese Government. The contents of the Study are as follows:

- a) to confirm background, objectives, benefits of the project and also Institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for project implementation,
- b) to evaluate appropriateness of the Project for the Grant Aid Scheme from a technical, social and economical point of view,
- c) to confirm items agreed on by the both parties concerning a basic concept of the project,
- d) to prepare a basic design of the project,
- e) to estimate cost involved in the project.

Final project components are subject to approval by the Government of Japan and therefore may differ from an original request.

Implementing the project, the Government of Japan requests the recipient country to take necessary measures involved which are itemized on Exchange of Notes.

### 2) Selecting (a) Consulting Firm(s)

For smooth implementation of the study, JICA uses (a) consulting firm(s) registered. JICA selects (a) firm(s) through proposals submitted by firms which are interested. The firm(s) selected carry(ies) out a Basic Design Study and write(s) a report, based upon terms of reference made by JICA.

The consulting firm(s) used for the study is(are) recommended by JICA to a recipient country after Exchange of Notes, in order to maintain technical consistency and also to avoid possible undue delay in implementation caused if a new selection process is repeated.

### (3) Status of a Preliminary Study in the Grant Aid Program

A Preliminary Study is conducted during the second step of a project formulation & preparation as mentioned above.

A result of the study will be utilized in Japan to decide if the Project is to be suitable for a Basic Design Study



Based on the result of the Basic Design Study, the Government would proceed to the stage of decision making process (appraisal and approval).

It is important to notice that at the stage of Preliminary Study, no commitment is made by the Japanese side concerning the realization of the Project in the scheme of Grant Aid Program.

### 3. Japan's Grant Aid Scheme

#### 1) What is Grant Aid?

The Grant Aid Program provides a recipient country with non reimbursable funds needed to procure facilities, equipment and services for economic and social development of the country under the following principles in accordance with relevant laws and regulations of Japan. The Grant Aid is not in a form of donation or such.

#### 2) Exchange of Notes (E/N)

The Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Exchange of Notes by both Governments, in which the objectives of the Project, period of execution, conditions and amount of the Grant etc. are confirmed.

3) "The period of the Grant Aid" means one Japanese fiscal year which the Cabinet approves the Project for. Within the fiscal year, all procedure such as Exchange of Notes, concluding a contract with (a) consulting firm(s) and (a) contractor(s) and a final payment to them must be completed.

4) Under the Grant, in principle, products and services of origins of Japan or the recipient country are to be purchased.

When the two Governments deem it necessary, the Grant may be used for the purchase of products or services of a third country origin.

However the prime contractors, namely, consulting, contractor and procurement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals" means Japanese physical persons or Japanese Juridical persons controlled by Japanese physical persons.)

#### 5) Necessity of the "Verification"

The Government of the recipient country or its designated authority will conclude into contracts in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the Government of Japan. The "Verification" is deemed necessary to secure accountability to Japanese tax payers.

**6) Undertakings required to the Government of the recipient country**

In the implementation of the Grant Aid, the recipient country is required to undertake necessary measures such as the following:

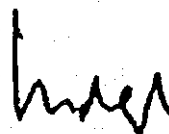
- a) to secure land necessary for the sites of the project and to clear and level the land prior to commencement of the construction work,
- b) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities in and around the sites,
- c) to secure buildings prior to the installation work in case the Project is providing equipment,
- d) to ensure all the expenses and prompt execution for unloading, customs clearance at the port of disembarkation and internal transportation of the products purchased under the Grant Aid,
- e) to exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which will be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the Verified Contracts,
- f) to accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the Verified Contracts, such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work.

**7) Proper Use**

The recipient country is required to maintain and use facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign staff necessary for their operation and maintenance as well as to bear all expenses other than those to be borne by the Grant Aid.

**8) "Re-export"**

The products purchased under the Grant Aid shall not be re-exported from the recipient country.



04/12

9) Banking Arrangement (B/A)

- (a) The Government of the recipient country or its designated authority shall open an account in the name of the Government of the recipient country in an authorized foreign exchange bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by Government of the recipient country or its designated authority under the contracts verified.
- (b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an Authorization to Pay issued by the Government of the recipient country or its designated authority.

huel

2011

ANNEX-V

NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE INDONESIAN SIDE

The following measures shall be taken by the Government of the Republic of Indonesia on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

1. To provide data and information necessary for the Project ;
2. To secure, clean, level and reclaim the site for the Project prior to the Project implementation ;
3. To provide proper access road to the Project site ;
4. To undertake gardening, fencing, exterior lighting, and other incidental outdoor works in and around the Project site;
5. To provide the following incidental utilities to the Project:
  - (1) Electricity distributing line to the site,
  - (2) Water supply distribution main to the site,
  - (3) Drainage main to the site,
  - (4) Telephone trunk line to the site;
6. To provide general furniture and equipment such as carpet, curtain and others incidental facilities necessary to the Project;
7. To bear commissions to the Japanese foreign exchange bank for its banking services based upon the Banking Arrangement, namely
  - the advising commission of the 'Authorization to Pay' and
  - the payment commission;
8. To ensure prompt unloading, tax exemption, and the customs clearance at the port of disembarkation in Indonesia and prompt internal transportation therein of the materials and equipment for the Project purchased under the Grant Aid;
9. To exempt Japanese juridical and physical nationals engaged in the Project from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Indonesia with respect to the supply of the products and services under the verified contracts;

10. To accord Japanese whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into Indonesia and stay therein for the performance of their work;
11. To provide necessary permissions, licenses, and other authorization for implementing the Project, if necessary;
12. To assign an appropriate budget and administrative staff for proper and effective operation and maintenance of the facilities and equipment provided under the Project; and
13. To bear all the expenses other than those to be borne by the Japan's Grant Aid within the scope of the Project.

*Handwritten signature*

*Handwritten initials*



## S U R A T - P E R N Y A T A A N

NOMOR : 2022/Q.71/05/VI/97

Yang bertanda tangan di bawah ini :

-N a m a : Dr. S. A. TANDAYU, SKM

N I P : 140 028 899

Jabatan : Kepala Kantor Wilayah  
Departemen Kesehatan RI. Prop. Sulawesi Utara

dengan ini menyatakan bahwa lahan seluas 8000 M2 ( Delapan Ribu Meter Bujur Sangkar ) yang terdiri dari :

1. Tanah milik Kantor Wilayah Dep.Kes.RI Prop. Sulut seluas 5000 M2 ( Lima Ribu Meter Bujur Sangkar )
2. Tanah pemberian dari Pemda Tkt.I Sulawesi Utara seluas 3000 M2 ( Tiga Ribu Meter Bujur Sangkar )

diserahkan sepenuhnya kepada Balai Pelatihan Kesehatan Manado, untuk dipergunakan sebagai tempat pembangunan Gedung Bapelkes dan tempat kegiatan Bapelkes Manado

Demikian surat pernyataan ini dibuat untuk dipergunakan sebagai mana mestinya.

KANTOR WILAYAH DEP.KES.RI.  
PROVINSI SULAWESI UTARA,  
KEPALA  
Dr. S. A. TANDAYU, SKM  
140 028 899



PEMERINTAH PROPINSI DATI I SULAWESI UTARA  
DINAS KESEHATAN

JLN. 17 AGUSTUS TELEPON (0431) 62992, 61548  
FAX. 61548 MANADO

Nomor : 446/TU/PS/VI.97  
Lampiran :  
Perihal : Penyampalan Copy  
Sertifikat Tanah  
Bapelkes Manado.

Manado, 4 Juni 1997.

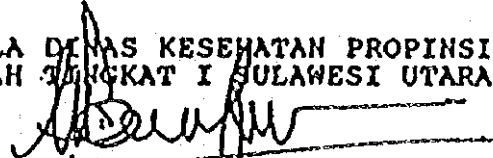
Kepada Yth :  
Kepala Kantor Wilayah  
Dep. Kes. RI Propinsi  
Sulawesi Utara,  
di  
Manado.

Pada Tahun Anggaran 1995/1996 Pemerintah Daerah Propinsi Dati I Sulut mengalokasikan Dana PAD pada Proyek Penataan dan Pengamanan Fasilitas Kantor Dinas Kesehatan Propinsi Daerah Tingkat I Sulawesi Utara di Kodya Manado sebesar Rp. 100.000.000,- (seratus juta rupiah) untuk pengadaan tanah sehubungan akan dibangunnya Balai Pelatihan Kesehatan Manado (Bapelkas) beserta dengan perlengkapan lainnya yang akan diblayai oleh Bantuan Jepang, sesuai laporan Kepala Dinas Kesehatan Propinsi Dati I Sulut dan Kepala Kantor Wilayah Dep. Kes Propinsi Sulut kepada Bapak Gubernur Kepala Daerah Tingkat I Sulawesi Utara.

Sehubungan dengan hal tersebut diatas, bersama ini kami sampaikan Foto Copy Sertifikat Tanah tersebut untuk digunakan sebagai penunjang kelengkapan administrasi untuk pembangunan/pengembangan Balai Pelatihan Kesehatan (Bapelkes) Manado. Selanjutnya sebagai bahan laporan kepada Bapak Gubernur Kepala Daerah Tingkat I Sulawesi Utara, dimohon kiranya kepada kami dapat diinformasikan sampai sejauhmana rencana pembangunan/pengembangan Bapelkes tersebut yang sementara dan akan diblayai oleh Bantuan Jepang. (Jica).

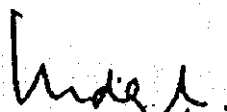
Demikian penyampalan kami dan atasnya disampaikan terima kasih.

KEPALA DINAS KESEHATAN PROPINSI  
DAERAH TINGKAT I SULAWESI UTARA,

  
Dr. F. A. RAMPEN, SKH  
PEMBINA UTAMA HUDA  
NIP : 140 046 357.

Tambusan Kepada Yth :

1. Bapak Gubernur KOD Tkt. I Sulut (sebagai laporan).
2. Bappeda Tingkat I Sulawesi Utara.
3. Biro Keuangan Setwilda Tingkat I Sulut.
4. Biro Perlengkapan Setwilda Tingkat I Sulut.
5. A r s i p.



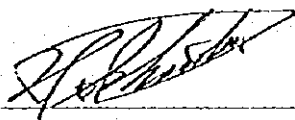
MINUTES OF DISCUSSIONS  
ON  
BASIC DESIGN STUDY  
ON  
THE PROJECT FOR HEALTH MANPOWER TRAINING INSTITUTION DEVELOPMENT  
AT NORTH SULAWESI AND SOUTH SULAWESI  
IN  
THE REPUBLIC OF INDONESIA  
(CONSULTATION ON DRAFT REPORT)

In June 1997, the Japan International Cooperation Agency (JICA) dispatched a Basic Design Study team on the Project for Health Manpower Training Institution Development at North Sulawesi and South Sulawesi in the Republic of Indonesia (hereinafter referred to as "the Project"), and through discussions, field survey, and technical examination of the results in Japan, has prepared the draft report of the study.

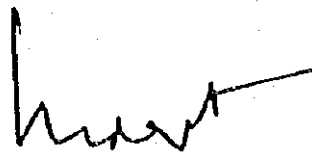
In order to explain and to consult the Indonesian side on the components of the draft report, JICA sent to Indonesia a study team, which is headed by Mr. Hidetoshi ISHIOKA, First Project Management Division, Grant Aid Project Management Department, JICA, and is scheduled to stay in the country from September 9 to September 19, 1997.

As a result of discussions, both parties have confirmed the main items described on the attached sheets.

Jakarta, September 19, 1997



Mr. Hidetoshi ISHIOKA  
Leader  
Draft Basic Design Explanation Team  
Japan International Cooperation Agency



Dr. Hidayat Hardjoprawito  
Secretary General  
Ministry of Health  
Government of the Republic of Indonesia



## ATTACHMENT

### 1. Components of draft report

The Government of Republic of Indonesia has in principle agreed and accepted the components of the draft report proposed by the Team.

### 2. Items requested by the Government of the Republic of Indonesia

The construction of the facilities described in ANNEX-I and the procurement of the equipment described in ANNEX-II, are finally requested by the Government of the Republic of Indonesia for the consideration by the Government of Japan to be provided under the Grant Aid.

The requested items shall be re-examined and referred to on finalizing the Basic Design Study Report.

### 3. Presentation of the final report

JICA will make the final report in accordance with the confirmed items, and send it to the Government of the Republic of Indonesia around November, 1997.

### 4. Japan's Grant Aid System

1) The Government of the Republic of Indonesia has understood the system of Japan's Grant Aid Explanation by the team. (See ANNEX-III)

2) The Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures, described in Annex-IV for smooth implementation of the Project on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

### 5. Monitoring

The BAPELKES in North Sulawesi Province and in South Sulawesi Province have the responsibility in monitoring progress of the Project based upon the indicators given in Annex-V and reporting it to the JICA Indonesia Office annually through the CETHIP (Center for Education and Training of Health Personnel), Ministry of Health.

6. Other Relevant Issues

1) Water supply

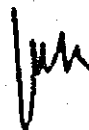
KANWIL and BAPELKES in Ujung Pandang and Manado are responsible for introduction of water pipe up to the site as well as water supply.

2) Project Implementation Unit (PIU)

Bureau of Planning, MOH and CETHP will form the PIU covering in central level and provincial level.

3) Project Implementation Agency

Ministry of Health will appoint CETHP as the project implementation agency. CETHP will arrange every necessary matter related to the project as the project implementation agency after discussion and coordinate with Bureau of Planning, MOH, KANWIL and BAPELKES in Ujung Pandang, and Manado.



**ANNEX - I**  
**REQUESTED FACILITIES FOR THE PROJECT**

1. South Sulawesi
  - 1) Auditorium : 1 ( for 200 persons with tables and chairs )
  - 2) Special Training Classroom : 1
  - 3) Dormitory : 20 rooms ( for 40 persons )
2. North Sulawesi
  - 1) Training Facility
    - ① Classroom : 3  
( Large size rooms for 40 persons : 2rooms,  
Middle size room for 30 persons :1room)
    - ② Special Training Classroom : 1
    - ③ Library : 1
    - ④ Administration Office
      - ④-1 Trainers' room : 2
      - ④-2 Printing room : 1
  - 2) Auditorium : 1 (for 100 persons with tables and chairs)
  - 3) Dormitory : 40 rooms (for 80 persons)
  - 4) Dining room : 1 (for 80 persons)

Note: 1. Both sides confirm that each facility mentioned above includes the related common spaces such as corridors, storage, toilets, machine room, the necessary utilities such as electricity, water supply, sewage, telecommunication, etc. The details of such common spaces and utilities will be discussed further between the Japanese and Indonesian side.

2. The size and capacity of facilities will be determined after further studies.

**ANNEX - II**  
**EQUIPMENT LIST**  
**(Requested by Indonesian Side)**

*Jan*

*[Signature]*

**Equipment for the Project  
South Sulawesi(Ujung Pandang)**

No.	Name of Equipment	Quantity
<b>I . Audio Visual Aid/Equipment</b>		
SAV-1	Video Cassette Recorder	2
SAV-2	Video Camera and Lighting	1
SAV-3	Screen	2
SAV-4	Radio Cassette Recorder	1
SAV-5	Cassette Audio Reproduction	1
SAV-6	Cassette Video Reproduction	1
SAV-7	Photo Camera	1
SAV-8	Slide Projector	2
SAV-10	Data Board	1
SAV-11	Sound System	1
SAV-12	Overhead Projector	2
SAV-13	Whiteboard	2
SAV-14	Flipchart Stand	4
SAV-15	Sound System Portable Wireless	1
SAV-16	Green Board	2
SAV-17	Television	1
SAV-18	CCTV	1
<b>II . Office Equipment</b>		
SOE-1	Photocopy machine	1
SOE-2	Cutting/Binding machine	1
<b>III . Special Training Equipment</b>		
<b>a. Special Training Equipment</b>		
SST-1	Personal computer + printer	15
SST-2	Scanner	1
SST-3	Computer projector	1
<b>b. Simulation Training Equipment</b>		
SSM-1	Midwife phantom	1
SSM-2	Delivery demonstration equipment	3
SSM-3	Weighing scale	1
SSM-4	Weighing scale for baby	2
SSM-5	Stethoscope	6
SSM-6	Midwife Kit	3
SSM-7	Perinatal Kit	1
SSM-8	Resuscitator for infant	1
SSM-9	Infant Incubator	1
SSM-10	Sterilizer	1
SSM-11	Male figure	1
SSM-12	Female figure	1
SSM-13	Human torso and head models	1
SSM-14	Heart models	1
SSM-15	Baby doll	2
SSM-16	Emergency set	1
<b>IV . Auditorium Equipment</b>		
SAE-1	Desk & Chair	303
<b>V . Dormitory Equipment</b>		
SDE-1	Bed set	40
SDE-2	Locker	20
SDE-3	Desk & chair set	41
SDE-4	Television	1

SDE-5	Table lamp	40
SDE-6	Heavy duty washing machine	1
VI. Transportation		
STP-1	Minibus 20 to 35 seats	1
STP-2	Minibus 7 to 8 seats	1

Equipment for the Project  
North Sulawesi (Manado)

No.	Name of Equipment	Quantity
<b>I. Audio Visual Aid/Equipment</b>		
NAV-1	Video Cassette Recorder	2
NAV-2	Video Camera and Lighting	1
NAV-3	Screen	1
NAV-4	Radio Cassette Recorder	1
NAV-5	Cassette Audio Reproduction	1
NAV-6	Cassette Video Reproduction	1
NAV-7	Photo Camera	1
NAV-8	Slide Projector	2
NAV-9	Data Board	2
NAV-10	Sound System	2
NAV-11	Overhead Projector	5
NAV-13	Flipchart Stand	1
NAV-14	Sound System Portable Wireless	2
NAV-15	Green Board	2
NAV-16	Television Monitor	1
<b>II. Office Equipment</b>		
NOE-1	Typewriter	3
NOE-2	Electric duplicator	1
NOE-3	Cabinet & Lack	8
NOE-4	Desk & chair	17
NOE-5	White board	2
NOE-6	Photocopy machine	1
NOE-7	Cutting/Binding machine	1
<b>III. Trainer/Widyaiswara Equipment</b>		
NTR-1	Desk and chair	14
NTR-2	Cabinet & Rack	6
NTR-3	Whiteboard	2
<b>IV. Classroom Equipment</b>		
NCE-1	Desk & Chair	165
NCE-2	Whiteboard	4
NCE-3	Flipchart stand	3
<b>V. Special Training Equipment</b>		
<b>a. Special Training Equipment</b>		
NST-1	Personal computer + printer	7
NST-2	Scanner	1
NST-3	Computer projector	1
<b>b. Simulation Training Equipment</b>		
NSM-2	Delivery demonstration equipment	3
NSM-3	Weighing scale for baby	2
NSM-4	Stethoscope	6
NSM-5	Midwife Kit	3
NSM-6	Perinatal Kit	1
NSM-7	Resuscitator for infant	2
NSM-9	Sterilizer	1
NSM-10	Male figure	1
NSM-11	Female figure	1
NSM-12	Human torso and head models	1
NSM-13	Heart models	1
NSM-14	Baby doll	6
<b>VI. Auditorium Equipment</b>		
NAE-1	Desk & Chair	203
<b>VII. Dormitory Equipment</b>		

*Cal*



NDE-1	Bed set	81
NDE-2	Locker	41
NDE-3	Desk & Chair	82
NDE-4	Television	1
NDE-5	Table lamp	80
NDE-6	Heavy duty washing machine	1
<b>VII. Dining Room Equipment</b>		
NDR-1	Table & Chair	84
<b>IX. Kitchen Equipment</b>		
NKE-1	Heavy duty freezer(Refrigerator)	1
NKE-2	Gas and Kerosene stove	3
NKE-3	Rice Cooker	2
NKE-4	Cooking Set	1
<b>X. Transportation</b>		
NTP-1	Minibus 20 to 30 seats	1
NTP-2	Minibus 7 to 8 seats	1
<b>XI. Library Room Equipment</b>		
NLR-1	Reading Desk & Chair	5
NLR-2	Desk & Chair	2
NLR-3	Cabinet & Rack	13
NLR-4	Photocopy Machine	1



**ANNEX - III**  
**JAPAN'S GRANT AID PROGRAM**

**1. Japan's Grant Aid Procedures**

1) The Japan's Grant Aid Program is executed by the following procedures;

- Application (Request made by a recipient country)
- Study (Preliminary Study / Basic Design Study conducted by JICA)
- Appraisal & Approval (Appraisal by the Government of Japan and Approval by the Cabinet of Japan)
- Determination of Implementation (Exchange of Notes between the both Governments)
- Implementation (Implementation of the Project)

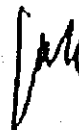
2) Firstly, an application or a request for a project made by the recipient country is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid. If the request is deemed suitable, the Government of Japan entrusts a study on the request to JICA (Japan International Cooperation Agency).

Secondly, JICA conducts the Study (Basic Design Study), using a Japanese consulting firm. If the background and objective of the requested project are not clear, a Preliminary Study is conducted prior to a Basic Design Study.

Thirdly, the Government of Japan appraises the Project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Program based on the Basic Design Study Report prepared by JICA and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the Project approved by the Cabinet becomes official when pledged by the Exchange of Notes signed by the both Governments.

Finally, for the implementation of the Project, JICA assists the recipient country in preparing contracts and so on.



2. Contents of the Study

1) Contents of the Study

The purpose of the Study (Preliminary Study / Basic Design Study) conducted on a project requested by JICA is to provide a basic document necessary for appraisal of the Project by the Japanese Government. The contents of the Study are as follows ;

- a) to confirm background, objectives, benefits of the Project and also institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for project implementation,
- b) to evaluate appropriateness of the Project for the Grant Aid Scheme from a technical, social and economical point of view,
- c) to confirm items agreed on by the both parties concerning a basic concept of the Project,
- d) to prepare a basic design of the Project,
- e) to estimate cost involved in the Project

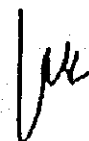
Final project components are subject to approval by the Government of Japan and therefore may differ from an original request.

Implementing the Project, the Government of Japan requests the recipient country to take necessary measures involved which are itemized on Exchange of Notes.

2) Selecting (a) Consulting Firm(s)

For smooth implementation of the study, JICA uses (a) consulting firm(s) registered. JICA selects (a) firm(s) through proposals submitted by firms which are interested. The firm(s) selected carry(ies) out a Basic Design Study and write(s) a report based upon terms of reference made by JICA.

It is important that the recipient country should make a contract promptly with the same consulting firm(s) used for the Basic Design Study which is (are) recommended by JICA, in order to maintain technical consistency and also avoid the undue delay in implementation of the Project under the single fiscal year system of Japan's Grant Aid.



3. Japan's Grant Aid Scheme

1) What is Grant Aid?

The Grant Aid Program provides a recipient country with non reimbursable funds needed to procure facilities, Equipment and services for economic and social development of the country under the following principles in accordance with relevant laws and regulations of Japan. The Grant Aid is not in a form of donation or such.

2) Exchange of Notes (E/N)

The Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Exchange of Notes by both Governments, in which the Objectives of the Project, period of execution, conditions, and amount of the Grant, etc. are confirmed.

3) "The period of the Grant Aid" means one Japanese fiscal year which the Cabinet approves the Project for. Within the fiscal year, all procedure such as Exchange of Notes, concluding a contract with (a) consulting firm(s) and (a) contractor(s) and a final payment to them must be completed.

4) Under the Grant, in principle, products and services of origins of Japan or the recipient country are to be purchased.

When the two Government deem it necessary, the Grant may be used for the purchase of products or services of a third country origin.

However the prime contractors, namely, consulting, contractor and procurement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals means Japanese Physical persons or Japanese juridical persons controlled by Japanese physical persons.)

5) Necessity of the "Verification"

The Government of the recipient country or its designed authority will conclude into contracts in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the Government of Japan. The "Verification is deemed necessary to secure accountability to Japanese tax payers.

6) Undertakings required to the Government of the recipient country

In the implementation of the Grant Aid, the recipient country is required to undertake necessary measures such as the followings:

- a) to secure land necessary for the sites of the project and to clear and level the land prior to commencement of the construction work,
- b) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities in and around the sites,
- c) to secure buildings prior to the installation work in case the Project is providing equipment,
- d) to ensure all the expenses and prompt execution for unloading, customs clearance at the port of disembarkation and internal transportation of the products purchased under the Grant Aid,
- e) to exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which will be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the Verified Contracts,
- f) to accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the Verified Contracts, such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work.

7) Proper Use

The recipient country is required to maintain and use facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign staff necessary for their operation and maintenance as well as to bear all expenses other than those to be borne by the Grant Aid.

8) "Re-export"

The products purchased under the Grant Aid shall not to be re-exported from the recipient country.

9) **Banking Arrangement (B/A)**

- (a) The Government of the recipient country or its designated authority shall open an account in the name of the Government of the recipient country in an authorized foreign exchange bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of recipient country or its designated authority under the contracts verified.
- (b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an Authorization to Pay issued by the Government of the recipient country or its designated authority.

*W*

*[Signature]*

**ANNEX - IV**

**NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE INDONESIAN SIDE**

The following measures shall be taken by the Government of the Republic of Indonesia on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

1. To provide data and information necessary for the Project;
2. To secure, clear, level and reclaim the site for the Project prior to the Project Implementation;
3. To provide proper access roads to the Project to site;
4. To undertake incidental outdoor works such as, gardening, fencing, exterior lighting, and other incidental facilities in and around the Project site, if necessary;
5. To provide the following incidental utilities to the Project:
  - 1) Electricity distributing line to the site,
  - 2) Water supply distribution main to the site,
  - 3) Drainage main to the site,
  - 4) Telephone trunk line to the site;
6. To provide general furniture and equipment such as carpet, curtain and other incidental facilities necessary to the Project;
7. To bear two kinds of commissions to the Japanese Foreign Exchange Bank for its banking services based upon the Banking Arrangement, namely
  - the advising commission of the "Authorization to Pay" and
  - the payment commission;
7. To ensure prompt unloading, tax exemption, and the customs clearance at the port of disembarkation in Indonesia and prompt internal transportation therein of the materials and equipment for the Project purchased under the Grant;
8. To exempt Japanese juridical and physical nationals engaged in the Project from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Indonesia with respect to the supply of the products and services under the verified contract;
9. To accord Japanese whose services may be required in connection with the supply of products and services under the verified contract such facilities as



may be necessary for their entry into Indonesia and stay therein for the performance of their work;

10. To provide necessary permissions, licenses, and other authorization for implementing the Project, if necessary;
11. To assign an appropriate budget and training and administrative staff for proper and effective operation and maintenance of the facilities and equipment provided under the Grant; and
12. To bear all the expenses other than those to be borne by the Japan's Grant Aid within the scope of the Project.

*JPL*

*[Signature]*

## **ANNEX - V**

### **Monitoring and Reporting of the Project**

The following indicators should be reported to the JICA Indonesia Office from fiscal year 1999/2000 in English by the both BAPELKES in North Sulawesi Province and South Sulawesi Province through the KANWIL and then CETHP, Ministry of Health.

- a) Annual report of activities which conducted in each BAPELKES, which should describe the following matters:
  - Name of Training Programs, Seminars and Conferences
  - Duration of each Training Program, Seminars and Conferences
  - The Number of Participants for each Training Programs, Seminars and Conferences
  - BOR and SOR of each month
  - Number of staff and trainers in each section
  - Annual Budgetary Record
  - Annual Maintenance Report for Facility and Equipment
- b) Training Program Plan for the next fiscal year





DEPARTEMEN KESEHATAN RI  
PUSAT PENDIDIKAN DAN LATIHAN PEGAWAI

Jl. Hang Jebat Blok F, 3 Kebayoran Baru  
Jakarta Selatan 12120

Telx : (Hunting) 7222987-7246102-7246105-7234868-6  
Fax : 021-7246107-7224870

STANDARD FACILITIES OF BAPELKES

1. Land :

- A Class : 3-5 Ha
- B & C Class : 1-2 Ha

2. Buildings :

- A Class : 4 500 M<sup>2</sup>
- B & C Class : 3000 M<sup>2</sup>

3. Class room :

- A class : 4-5 rooms, capacity 40 person each, 90 M<sup>2</sup> ( 9 M x 10 M)
- B & C Class : 3 rooms, capacity 40 person each, 90 M<sup>2</sup> ( 9 M x 10 M )

4. Discussion rooms:

- A Class : 6 rooms, capacity 15 person each, 30 M<sup>2</sup> (5M x 6 M)
- B & C class : 3 rooms , capacity 15 persons, 30 M<sup>2</sup> (5M x 6M)

5. Office building:

- A Class : 1 unit, capacity 40 persons, 200 M<sup>2</sup>
- B & C Class : 1 unit, capacity 30 persons , 150 M<sup>2</sup>

6. Dormitory :

- A Class : bed room, bathroom, toilet, 120 rooms, capacity 2 persons, 20 M<sup>2</sup> wide
- B & C Class : bed room, bathroom, toilet, 80 rooms, capacity 2 persons, 20 M<sup>2</sup> wide.

7. Kitchen :

- A Class : 1 unit, 150 M<sup>2</sup> ( 10M x 15 M )
- B & C Class : 1 unit , 100 M<sup>2</sup> ( 10M x 10 M )

8. Dining room :

- A Class : 1 unit , 200 M<sup>2</sup> ( 10M x 20 M)
- B & C Class : 1 unit , 150 M<sup>2</sup> ( 10M x 15 M )

9. Auditorium :

- A Class : 1 unit, capacity 200 persons, 700 M<sup>2</sup>
- B Class : 1 unit, capacity 150 persons, 500 M<sup>2</sup>
- C Class : 1 unit, capacity 100 persons, 350 M<sup>2</sup>

10. Trainers room :

- A Class : 1 unit , capacity 20 persons, 100 M<sup>2</sup>
- B Class : 1 unit , capacity 15 persons, 75 M<sup>2</sup>
- C Class : 1 unit , capacity 10 persons, 50 M<sup>2</sup>

11. Library :

- A , B & C Class : 1 unit , 100 M<sup>2</sup> (10M x 10M)

12. Staff housing:

- A , B & C Class : 8 units, 54M<sup>2</sup> each

13. Praying room :

- A, B & C Class : 1 unit, 25 M<sup>2</sup> ( 5M x 5 M)

14. Generator Building :

- A, B & C Class: 1 unit , 9 M<sup>2</sup> ( 3 M x 3M)

Jakarta, July, 16, 1997  
The Center of Education and Training  
for Health Personnel MOH

  
Dr. H. Surono  
Director



**DEPARTEMEN KESEHATAN RI**  
**PUSAT PENDIDIKAN DAN LATIHAN PEGAWAI**

Jl. Hang Jebat Blok F. 3 Kebayoran Baru  
Jakarta Selatan 12120

Telp : (Hunting) 7222987-7246102-7246105-7234868-69  
Fax : 021-7246107-7224870

<b>STANDARD FACILITIES OF BAPELKES</b>				
NO	ITEMS	A CLASS	B CLASS	C CLASS
1.	Land	30-50 Ha	20-30 Ha	10-20 Ha
2.	Office Building	2000-5000 M2	1500-3000 M2	1000-1500 M2
3.	Dormitory	200 rooms	150 rooms	100 rooms
4.	Guesthouse	5-9 unit	4-8 unit	1-4 unit
5.	Suplement Building	4-6 unit	1-4 unit	1-3 unit
6.	Bus (30 persons)	1 unit	1 unit	-
7.	Mini bus (7 persons)	1-3 unit	1 unit	1 unit
8.	Motor Cycle	2 unit	1 unit	1 unit
9.	CC TV	1 unit	-	-
10.	Television	11 unit	8 unit	4 unit
11.	OHP + Screen	10 unit	8 unit	4 unit
12.	Slide Projector	2 unit	1 unit	1 unit
13.	Sound system	8 unit	6 unit	2 unit
14.	Amplifier	9 unit	6 unit	3 unit
15.	Radio Cassette Recorder	12 unit	8 unit	6 unit
16.	Cassette Audio Reproduction	1 unit	1 unit	1 unit
17.	Cassette Video Reproduction	1 unit	1 unit	1 unit
18.	Photo Camera	1 unit	1 unit	1 unit
19.	Video Camera	3 unit	2 unit	1 unit
20.	Werelles	7 unit	5 unit	3 unit
21.	Video Tape	5 unit	3 unit	3 unit
22.	Telephone	3 unit	2 unit	2 unit
23.	Faxcimile	2 unit	1 unit	1 unit
24.	Computer	15 unit	7 unit	5 unit
25.	Printer	5 unit	3 unit	2 unit
26.	Typewriter standart	5 unit	3 unit	3 unit
27.	Photo copy machine	3 unit	2 unit	1 unit
28.	Cutting/Binding machine	1 unit	1 unit	1 unit



DEPARTEMEN KESEHATAN RI  
PUSAT PENDIDIKAN DAN LATIHAN PEGAWAI

Jl. Hang Jebat Blok F. 3 Kebayoran Baru  
Jakarta Selatan 12120

Telp : (Pusat) 7222987-7246102-7246105-7234868-6  
Fax : 021-7246107-7224870

29.	Calulator	10unit	5 unit	5 unit
30.	Water Pump	8 unit	6 unit	3 unit
31.	Fan	30 unit	20 unit	20 unit
32.	Refrigerator	4 unit	3 unit	3 unit
33.	Washing machine	4 unit	3 unit	2 unit
34.	Generator	2-4 unit	1-2 unit	1 unit
35.	Chair (office, class, auditorium, dinning room)	700 unit	500 unit	250 unit
36.	Table (office, dinning room)	200 unit	150 unit	100 unit
37.	Save box	5 unit	3 unit	3unit
38.	Filling cabinet	45 unit	30 unit	25 unit
39.	Air Conditioner 2 pk	20 unit	10 unit	5 unit
40.	Bed	250 unit	200 unit	150 unit
41.	Cupboard	125 unit	100 unit	75 unit
42.	Sofa set	15 set	10 set	8 set
43.	Clock	20 unit	15 unit	10 unit
44.	Data board	3 unit	3 unit	3 unit
45.	White board (120 x 240 cm)	30 unit	20 unit	15 unit
46.	Standart Flipchart	50 unit	40 unit	30 unit
47.	Gas stove	5 unit	3 unit	2 unit
48.	Rice cooker	3 unit	2 unit	1 unit
49.	Cooking set	5 unit	3 unit	2 unit

Jakarta, 16 Juli 1997

Director CET,

  
dr. H. Surono

**DAFTAR : PAKET ALAT BANTU PELATIHAN (AVA)  
PADA BAPELKES DEPERTEMEN KESEHATAN R.I.**

No.	JENIS BARANG	J U M L A H
1.	Video Cassette Recorder	3 Buah
2.	Kamera V&dio + Lampu	2 Set
3.	Close Circuit TV/CCTV	1 Set
4.	Aiphone	2 Set a. 15 Coling
5.	Film Projector	1 Set
6.	S c r e e n	3 Set
7.	Radio Cassette Recorder	3 Buah
8.	English Teaching Set	1 Set
9.	Cassette Audio Reproduction	1 Set
10.	Cassette Visual Reproduction	1 Set
11.	Foto Tustel	2 Buah
12.	Data Board	4 Buah
13.	Sound Slide Projector	2 Set
14.	Personal Computer + Pronter	6 Set
15.	Sound System :	
	- Amplifier	3 Set
	- Mike	10 Buah
	- Loud Speaker	6 Buah
	- Standar Mic	4 Buah
16.	Overhead Projector (OHP)	6 Set
17.	Standar Flipchart	6 Set
18.	White Board :	
	- Ukuran Besar	2 Buah
	- Ukuran Sedang	4 Buah
	- Ukuran Kecil	4 Buah
19.	Sound System Portable Wireless	3 Set, Mic 8 Buah
20.	Anatomi Set / Phanton Kebidanan	2 Set
21.	Papan Tulis/Green Board	4 Buah
22.	TV Set	6 Buah

paket alat

## I. DAFTAR : PERALATAN PERALATAN KANTOR BAPELKES

No.	JENIS BARANG	JUMLAH
1.	Mesin Tulis Standar 27 "	2 Buah
2.	Mesin Tulis Standar 24 "	4 Buah
3.	Mesin Tulis Portable	2 Buah
4.	Mesin Stensil	1 Buah
5.	Mesin Hitung Electric	2 Buah
6.	Brankast/Lemari Besi	1 Buah
7.	Almari Kayu	6 Buah
8.	Kursi + Meja Kerja 1/2 Biro	12 Set
9.	Filling Cabinet	6 Buah
10.	Jam Dinding	2 Buah
11.	Meja + Kursi Rapat (Kursi 8)	2 Set
12.	White Board Ukuran Sedang 120 x 240	2 Buah
13.	Kursi + Meja Kerja 1 Biro	1 Buah
14.	Kursi Lipat	6 Buah
15.	Meja Mesin Tik	6 Buah
16.	S o f a	1 Set
17.	Rak Arsip dengan Besi Siku/Untuk Orner	2 Buah
18.	Lemari Es	1 Buah
19.	Lemari Panjang Bufet (Untuk Piagam/Vandel dsb)	1 Buah
20.	Gambar Presiden, Wkl. Presiden dan Garuda	1 Set, 1 Buah
21.	AC 2 PK	2 Buah
22.	Telephone / Faximile	2 set
23.	Meja Untuk Belajar	1 set
24.	Alat Pemadam Kebakaran	4. Buah
25.	Standar Tiang Bendera	

paket alat

**II. DAFTAR : PERALATAN RUANG PELATIH / WIDYAIKWARA  
DI BAPELKES**

No.	JENIS BARANG	J U M L A H	
1.	Meja ukuran 1/2 Biro + Kursi	20	Set
2.	Filling Cabinet 2 laci	10	Buah
3.	Meja Rapat + Kursi (8 kursi)	1	Set
4.	White Board ukuran sedang	2	Buah
5.	Jam Dinding	1	Buah
6.	AC 2 PK	3	Buah
7.	Alm a r i	2	Buah

1/1/14

III. DAFTAR : PERALATAN RUANG DISKUSI DI BAPELKES (6 RUANGAN)  
( 6 RUANGAN )

No.	JENIS BARANG	J U M L A H	
1.	Kursi @ Ruangan 10 buah	60	Buah
2.	White Board	6	Buah
3.	Jam Dinding	6	Buah
4.	Meja Rapat	6	Buah
5.	AC 1 PK	6	Buah
6.	Standard Flip Chart	6	Buah

palet 400

IV. DAFTAR : PERALATAN RUANG KELAS DI BAPELKES  
( 4 RUANGAN KELAS )

No.	JENIS BARANG	JUMLAH
1.	Kursi Belajar	160 Buah
2.	Meja + kursi pengajar/pelatih	4 Set
3.	Jam Dinding	4 Buah
4.	Kipas angin	4 Buah
5.	White Board	4 Buah
6.	Wastafel	4 Buah
7.	Bel	4 Buah
8.	AC 2 PK	4 Buah



V. DAFTAR : PERALATAN RUANG AUDITORIUM DI BAPELKES  
( LUAS 200 M2 )

No.	JENIS BARANG	JUMLAH	
1.	Sound system set	1	Set
2.	Kursi Jok	150	Buah
3.	Podium	1	Set
4.	Tempat dan tiang bendera	1	Set
5.	Gambar Presiden, Wakil Presiden dan Garuda	1	Set
6.	AC 2 PK	6	Buah
7.	Gordyn Double	200	Meter
8.	Taplak meja bludru untuk meja rapat	4	Set
9.	Kursi manajer	4	Buah
10.	Meja Rapat (panjang 3 meter)	4	Buah
11.	Paku sidang	1	Set
12.	Jam dinding	1	Buah
13.	Lampu alarm	1	Buah
14.	Lampu emergency	4	Buah

**VI. DAFTAR : PERALATAN RUANG ASRAMA DI BAPELKES  
UNTUK 3 GEDUNG/UNIT**

No.	JENIS BARANG	JUMLAH	
1.	Tempat tidur lengkap	100	Set
2.	Meja kejl/belajar	100	Set
3.	Lemari pakaian	50	Buah
4.	TV Colour	3	Buah
5.	Meja tamu	3	Buah
6.	Rak handuk	50	Buah
7.	Kaca rias	50	Buah
8.	Kapstok	50	Set
9.	Rak sepatu	50	Buah
10.	K u r s i	100	Buah
11.	Gantungan pakaian	300	Set
12.	Lampu Baca	100	Buah
13.	Termos air	60	Buah
14.	Mesin cuci	2	Buah
15.	Megaphone	2	Buah
16.	AC 2 PK	10	Buah

VII. DAFTAR : PERALATAN RUANG MAKAN DI BAPELKES

No.	JENIS BARANG	J U M L A H	
1.	Meja makan	25	Buah
2.	Kursi	100	Buah
3.	Kipas angin standar / AC 2 PK	5	Buah, 2-3 buah
4.	Loud speaker	2	Buah
5.	Sound system	1	Set
6.	TV set	1	Set

VIII. DAFTAR : PERALATAN RUANG DAPUR DI BAPELKES

No.	JENIS BARANG	J U M L A H
1	Freezer	1 Set
2.	Kompor gas + oven 4 tungku	2 Buah
3.	Rice cooker (5 liter)	4 Buah
4.	Tabung gas	4 Buah
5.	Rak piring + gelas (standar)	3 Buah
6.	Tempat beras	2 Buah
7.	Blender juice + meat	4 Buah
8.	M i x e r	2 Buah
9.	Pemadam kebakaran	2 Buah
10.	Jumbo Pot air	4 Buah
11.	Exhouse fan besar	2 Buah
12.	White board sedang	1 Buah
13.	Kitchen	1 Buah

## IX. SARANA PENUNJANG

No.	JENIS BARANG	JUMLAH
1.	Kendaraan roda 4 (empat) mini bus	2 Buah
2.	Kendaraan roda 2 (dua)	2 Buah

petri stu



BAPELKES-MNDの訓練カリキュラム  
(1997/1998)

資料-8 BAPELKESの訓練カリキュラム

(Source: BAPELKES-MND)

No	訓練コース名	1997年												1998年1月	1998年2月	1998年3月	1998年4月	コース1回 参加人数	コース2回 参加人数	コース3回 参加人数	合計	
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月									
A. 既存バペルケスにて実施するプログラム																						
1	保健所の運営管理システム訓練																		4	5	25	
2	保健所監督官訓練																		1	10	18	
3	保健所衛生士訓練																		1	14	25	
4	保健センターの役割クリニク訓練																		1	10	20	
5	看護科訓練																		1	21	30	
6	野食科訓練																		2	12	30	
7	保健所保健師訓練																			36	60,70	
8	保健師訓練																		1	12	30	
9	保健センター助産師訓練																		P	21	30	
10	保健科訓練																		2	14	30	
11	村の助産師訓練																		P	36	30,30	
12	村の助産師訓練																		P	36	70,60	
13	医師及び歯科医師科訓練																		1	36	30,30	
14	医師及び歯科医師科訓練																		2	36	22,23	
15	スバルパン地区での農村衛生への指導訓練																			12	30	
16	保健センター衛生士訓練																			12	30	
17	食品衛生士訓練																			4	17	
18	レストラン及び食品サービス分野の経営者訓練																			4	17	
19	小学生のための食品添加物に関する保健センター実習訓練																			6	45	
20	保健センター記録・報告システム訓練																		5	5	12	
21	保健センター運営管理システム訓練																		3	5	50	
22	助産科トレーナー訓練																		P	12	20	
23	用土における臨床訓練																		1	10	15	
24	用土におけるアンダグラウンド施設緊急脱出訓練																		1	10	15	
25	保健センター実習への急性腰痛訓練(ADP)訓練																		1	5	90	
26	保健センター実習のための急性腰痛訓練(ADP)訓練																		1	5	60	
27	保健センターでのワクチン貯蔵管理訓練																		2	12	30	
28	保健センター運営管理システム訓練																		5	5	80	
29	保健センター記録・報告システム訓練																		5	5	25	
30	医師活動訓練																			12	17	
31	村の医師検査																		1	5	20	
32	保健センター実習訓練																		2	13	85	
33	眼プログラム																		1	30	30	
34	技術改善スタッフ訓練																		2	12	30	
小	コース数	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	0	
計	参加人数	25	18	18	105	85	95	80	80	116	66	90	105	115	100	100	52	52	100	100	71	
B. 施設にて実施するプログラム																						
1	救急管理者訓練																			1	90	60
2	運営管理のための演習型活動制指導訓練																				30	60
3	広域的な訓練																			1	12	40
4	記録管理者訓練																			1	12	30
5	司業訓練																			2	12	30
6	保健長キルマ経営訓練																				6	46
7	Teach For Health訓練																				6	30
8	医師派遣実地訓練																			1	6	12
9	バペルケストレーナーによる病棟事務管理改善訓練																				6	46
小	コース数	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	
計	参加人数	60	60	60	0	0	40	40	0	0	12	0	0	0	30	30	30	0	30	30	0	
合計																						
小	コース数	7	2	2	3	3	3	4	4	2	3	4	3	2	2	2	3	3	4	3	2	
計	参加人数	85	78	78	140	105	85	95	120	120	120	130	117	115	100	100	82	82	130	107	117	
小	コース数	1	1	1	2	2	2	4	4	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
計	参加人数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
必要室数(30~40人/室として)																						
小	コース数	3	3	3	4	4	4	4	4	2	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	2	
計	参加人数	3	3	3	4	4	4	4	4	2	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	2	





No.	Name of Course	No. of Days	No. of Trainee	Outside Training			Computer	Remark
				Budget	City	Remote Area		
1	Training for the Management Information System in Health Center	5	25	Kanwil		4	4	
2	Training for the Health Center Supervisor	10	18	Kanwil		2	1	
3	Training for Health Center Sanitarian	14	25	Kanwil		1		
4	Training for clinic for Health Center Doctor	10	20	Kanwil		2	1	
5	Training for Technical Function for nurses	21	30	Inpress(CET-Kanwil)	2	2	1	
6	Training for Financial Administrators	12	30	Routine(CBT)	2		2	
7	Pre-service training of Staff in Provice/Distric	36	200	Routine(CBT)				3 group
8	Training for District Health Staff	12	30	Kanwil		1	1	
9	Health Center Midwife	21	30	Inpress(CET-Kanwil)	2	2		
10	Hospital Management	14	30	Project(CET-Kanwil-Bapelkes)	1	1	2	
11	Technical Functionel for Midwife in village	12	90	Inpress(CET-Kanwil)	6	6		3 group
12	Pre-service Training for Midwife temporarily hired in three years	12	200	Inpress(Kanwil)	3	6		3 group
13	Technical Function for Doctor/Dentist	12	60	Inpress(CET-Kanwil)	3	6	1	3 group
14	Pre-service Training for Doctor/Destist	12	68	Inpress(CET-Kanwil)	2	4	2	2 group
15	Training for Instruction of Happy Life in the Kablupaten District	12	30	Kanwil	1	1		
16	Training for upgrade of sanitarian in the Health Center	12	30	Kanwil	1	1		
17	Taining for Food Control	4	17	Kanwil	1			
18	Training for Catering & Restaurant Owner	4	17	Kanwil	1			
19	Health Center Nutritionist regarding food addition program for student in primary school	6	45	Kanwil/Dinas		1		
20	Recording & Reporting Information System at Health Center	5	12	Kanwil	1		3	
21	Health Center Management Information System	5	50	Kanwil		4	3	
22	Training for midwife trainer	12	20	Inpress(CET-Kanwil)	1	1	1	
23	Tuberculosis in the province	10	15	Kanwil	1	1	1	
24	Eradication of Mosquit breeding Places of Dengu in the province	10	15	Kanwil	1	1	1	
25	AFP for Health Center staff(	5	90	Kanwil		1	1	
26	AFP for Health Center staff(Acute Flecid Paralisis)	5	60	Kanwil		1	1	
27	Health Center Cold Chain for Vaccine	12	30	Kanwil	2		1	
28	Health Center Management Information System	5	30	Kanwil		4	5	
29	Recording & Reporting Information System at Health Center	5	25	Kanwil	1		3	
30	Public Relations	12	17	Kanwil	1	1		
31	Health Cadres in the comminty	5	30	Kanwil	1		1	
32	Health Center Staff on Nutrition	13	35	Kanwil		1		
33	Eye Program	30	30	Kanwil	5	10	1	
34	Technical Health Staff	12	30	Kanwil	1	1	1	

No.	Name of Course	No. of Days	No. of Trainee	Outside Training			Computer	Remark
				Budget	City	Remote Area		
1	General Administration	90	60	Routine(CET)			2	
2	Training for Distant Learning of Administration Management	30	60	Routine(CET)			1	Distance Learning 6month
3	Traditional Medicine	12	40	Kanwil	2			
4	Training for Archive Staff	12	30	Routine(CET)	1	2	1	
5	Training for Librarian	12	30	Routine(CET)		2	1	
6	Training of Hotel Management for Director in the hospital	6	40	Kanwil		2	2	
7	Training "Touch for health"	6	30	Kanwil		2		
8	Training for better performance for midwife	6	12	Kanwil	1			
9	Training of Office Management on the job training for Bapelkes/Hospital	6	40	Routine(CET)		1	1	
10	Training for Midwife of Distant Learning in Remote Area	9(3days one time)	90	Project(CET-Kanwil-Bapelkes)				Distance Learning 10month
Total		567	1,826		44	75	46	

Distant Learning Course: Trainers have to go remote area at several interval.

(Source: BAPELKES-MND)

After Master Training in CET of 14 days(CBT Budget), 30 participants attended at Bapelkes(Inpres budget) and transfered to 3 to 5 midwife, trainer sometimes go to remote area to train(APBN budget)



BAPELKES-UPDの訓練カリキュラム  
(1996/1997)

No	プログラム名	年												合計				
		1996年5月	1996年6月	1996年7月	1996年8月	1996年9月	1996年10月	1996年11月	1996年12月	1997年1月	1997年2月	1997年3月	1997年4月	日数	参加人数			
1	保健センター医師配属前職務訓練	4/30	5/21													24	30	
2	歯科医師配属前職務訓練	5/25	5/27	6/15												21	30	
3	囚人の健康管理訓練	5/27	5/30													4	46	
4	評価・計画訓練	6/3	6/4													2	68	
5	通常予算と差別保管のコンサルティング会議	6/1														1	45	
6	栄養士再訓練		6/23	7/4												11	23	
7	保健センター運営・管理訓練	6/10	6/13													3	46	
8	村の助産婦のための遠距離学習個別指導訓練	6/6	6/15													10	30	
9	会計訓練		6/21		7/22											30	30	
10	ヘルスセンター衛生士再訓練		6/23	7/4												106	348	
11	伝染病予防集中訓練		7/1	7/3												11	26	
12	予算管理ソフトウェア訓練		7/4	7/6												3	52	
13	妊婦周産期聴取訓練		7/7	7/10												2	22	
14	保健所保健教育訓練		7/13	7/18												4	40	
15	保健所保健教育訓練		7/22	7/24												4	70	
16	第6次5ヶ年計画における感染症予防についての評価・計画会議		7/22	7/24												3	71	
17	予算適用評価		7/24	7/27												2	46	
18	一般運営管理基礎訓練		7/15						8/12							4	47	
19	社会市場調査データの収集分析訓練				8/16	8/31										60	30	
20	保健所保健教育訓練		7/29	7/31												6	12	
21	精神衛生訓練			8/5	8/9											3	72	
22	契約医師及び歯科医師配属前訓練			8/5	8/14											5	68	
23	看護婦のための飲料水衛生訓練			8/19	8/25											10	59	
24	県母子保健管理コース			8/21	8/22											7	23	
25	エイズワークショップ			8/21	8/22											2	26	
26	人獣共通伝染病及び媒介動物による伝染病訓練			8/26	8/28											2	36	
27	県病院衛生訓練			8/26	8/31											3	34	
28	保健所衛生士教育訓練			8/26	8/31											6	30	
29	保健所衛生士教育訓練			9/2	9/6											5	30	
30	放射線技師訓練				8/19	9/17	9/20	10/7								3	38	
31	母子保健訓練				9/18	9/21										50	19	
32	保健サービスコンサルティング会議				9/16	9/17										3	50	
33	保健所保健教育訓練				9/21	9/25										2	26	
34	保健所保健教育訓練				9/25	9/28										3	34	
35	病院運営管理コース				9/19	9/21										3	39	
36	保健所助産婦訓練				9/15	9/28										3	32	
																14	30	
																223	1,062	
	コース数	1	1	1	3	4	3	2	3	6	3	3	4	6	2	1	6	4

(Source: BAPELKES-UPD)

No	プログラム名	1996年5月												合計		
		1996年5月	1996年6月	1996年7月	1996年8月	1996年9月	1996年10月	1996年11月	1996年12月	1997年1月	1997年2月	1997年3月	1997年4月	日数	参加人数	
37	疫学アシスタント実技訓練								10/11					11/12	45	30
38	村の助産婦配属前訓練							10/6		10/15					10	38
39	精神病院リハビリ訓練							10/14		10/16					3	30
40	栄養士訓練								10/21		10/24				4	53
41	産科訓練							10/30		10/26					7	43
42	村の助産婦訓練							10/20						11/9	21	30
43	契約医師配属前訓練								11/3					11/13	10	30
44	一般保健従事者配属前訓練							10/14						10/29	14	107
45	村の助産婦訓練							10/17						11/16	21	30
46	新生児感染風撲滅訓練								11/3					11/5	3	32
47	水質検査キット訓練									11/18				11/26	9	31
48	肺結核抑制訓練								11/11					11/17	3	63
49	肺結核抑制訓練								11/14					11/17	3	63
50	一般運営管理基礎訓練													11/27	60	25
51	一般保健従事者配属前訓練													1/25	14	103
52	職業病訓練								10/30					11/14	10	30
53	エイズ訓練													11/17	7	30
54	Aタイプ実験室作業訓練													11/24	13	24
55	一般保健従事者配属前訓練									11/24				11/30	14	108
56	看護訓練									11/17				11/29	7	25
57	初級運営管理訓練													12/3	92	41
58	看護婦訓練Ⅰ													12/8	370	966
59	看護婦訓練Ⅱ													2/23	21	29
60	契約医師及び歯科医師配属前訓練													3/2	14	31
														3/15	10	35
														3/22	45	95
														3/12		
コース数															744	2,471



Bapelkes Ujung Pandang 97-98 Schedule

No.	Name of Course	Target Group	Trainee /Class	Duration	Field		Computer	Remark
					City	Remote		
1	Training for Management of 6 Hospital	Doctor, Paramedics	40	14				
2	Training of Doctor/Paramedics/Laboratorian/Midwives in H.C.		40	14				6
3	Training for decrease of IMR in 23 Hospitals	Midwives	30	14				8
4	Training for Health Insurance for Doctor	Doctor, Paramedics	30	14		2		6
5	Training for integrated Epid-immunization	Doctor, Paramedics	52	3				
6	Training for Sanitarians in H.C.	Paramedics	26	11		2		
7	Training for Sanitation in District Hospital	Paramedics	30	6				2
8	Evaluation & Planning Meeting	District Medical	68	2				
9	Training Health Education in H.C.	Paramedics	71	3				
10	Evaluation in Budget Application	Paramedics	47	4		1		
11	Training for Water Sanitation	Paramedics	23	7		2		
12	Training for Elimination of Neonatal	Paramedics	32	3		1		
13	Training for Nursing Care	Paramedics	25	7		1		2
14	Training for Management in H.C.	Doctor, Paramedics	46	3				2
15	Training for Radiology Technicians	Paramedics	19	50	30			
16	Consulting Meeting on Routine Budget and Drug Storage	Doctor, Paramedics	45	6				3
17	Training for Nutritionist in H.C.	Paramedics	23	11		1		
18	Training for Health Education in H.C.	Paramedics	39	3		1		
19	Training for Health Education in H.C.	Doctor, Paramedics	32	3				
20	Training for Health Education in H.C.	Paramedics	72	3		2		
21	Training for Mental Health	Doctor, Paramedics	68	5	3			
22	Training for Water Sanitation	Paramedics	23	7		2		
23	Training for Zoonosis & Vector-borne Disease Control	Paramedics	34	3		2		
24	Training for Sanitarians in H.C.	Paramedics	30	5		2		
25	Training for Health Education in H.C.	Paramedics	38	3	1			
26	Training for Obstetrics	Doctor, Paramedics	43	7	2			
27	Training for Maternal & Child Health	Paramedics	50	3	2	2		
28	Consulting Meeting on Health Services	Paramedics	26	2		2		
29	Training for Health Education in H.C.	Paramedics	34	3				
30	Training for Water Test Kits	Sanitarian	31	9		3		
31	Training for Pulmonary TB Control	Doctor	63	3	2	2		
32	Training for Pulmonary TB Control	Paramedics	63	3	2	2		
33	Training for Occupational Health	Paramedics	30	10		3		
34	Training for Laboratory Work Type A	Laboratorian	24	13		3		10
35	In-service Training for Doctors	Doctor	30	24	2	5		8
36	In-service Training for Dentist	Dentist	30	21		5		8
37	Training for Distant Learning Tutors of Village Midwives	Paramedics, Midwives	30	10		2		
38	Pre-service Training for Contract Doctors & Dentist	Doctor	59	10				
39	Training for Midwives in H.C.	Midwives	30	14	2	2		

Bapelkes Ujung Pandang 97-98 Schedule

No.	Name of Course	Target Group	Trainee /Class	Duration	Field		Computer	Remark
					City	Remote		
40	Field Assistance of Epidemiologist Course	Paramedics	30	84	6	30	30	
41	Pre-service Training for Village Midwives I	Midwives	40	10		2		
42	Pre-service Training for Village Midwives II	Midwives	40	10		2		
43	Pre-service Training for Village Midwives III	Midwives	40	10		2		
44	Pre-service Training for Village Midwives IV	Midwives	40	10		2		
45	Pre-service Training for Village Midwives V	Midwives	40	10		2		
46	Pre-service Training for Village Midwives VI	Midwives	40	10		2		
47	Pre-service Training for Village Midwives VII	Midwives	40	10		2		
48	Pre-service Training for Village Midwives VIII	Midwives	40	10		2		
49	Pre-service Training for Village Midwives IX	Midwives	40	10		2		
50	Pre-service Training for Village Midwives X	Midwives	40	10		2		
51	Pre-service Training for Village Midwives XI	Midwives	40	10		2		
52	Pre-service Training for Village Midwives XII	Midwives	40	10		2		
53	Pre-service Training for Village Midwives XIII	Midwives	40	10		2		
54	Pre-service Training for Village Midwives XIV	Midwives	40	10		2		
55	Pre-service Training for Village Midwives XV	Midwives	40	10		2		
56	Pre-service Training for Village Midwives XVI	Midwives	40	10		2		
57	Pre-service Training for Village Midwives XVII	Midwives	40	10		2		
58	Pre-service Training for Village Midwives XVIII	Midwives	40	10		2		
59	Training for Village Midwives	Midwives	30	21	6	6		
60	Pre-service Training for Contract Doctors	Doctor	30	10		2		
61	Pre-service Training for General Health Workers	Paramedics	107	114				
62	Training for Village Midwives	Midwives	30	21	6	6		
63	Basic Training for General Administrators	Doctor, Paramedics	25	60		5	2	
64	Pre-service Training for General Health Workers	Paramedics	103	14				
65	Training for Elementary Level Administrators	Doctor, Graduates from Public Health,	41	92	12	6	6	
66	Training for Paramedics I	Paramedics	29	21	2	2		



Bapelkes Ujung Pandang 97-98 Schedule

No.	Name of Course	Target Group	Trainee /Class	Duration	Field		Computer	Remark
					City	Remote		
67	Training for Paramedics II	Paramedics	31	21	2	2		
68	Pre-service Training for Contract Doctors and Dentist	Doctor, Denstis	35	10	2	2		
69	Training for Food and Drug Control		30	12	2	2	3	

(Source: BAPELKES-UPD)

BAPELKES - UPDの訓練参加者数 (宿泊者数)  
(1996 / 1997)

DATE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	total	average
Apr-96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	1	
May-96	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	0	0	0	0	30	76	76	30	978	36	
Jun-96	30	30	30	30	30	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	0	0	0	0	79	79	79	79	1,528	59	
Jul-96	131	131	79	52	52	30	70	70	70	30	30	30	30	130	130	130	130	60	60	60	60	147	77	77	77	77	30	30	30	2,506	92		
Aug-96	30	30	30	30	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	72	72	72	49	125	125	49	2,458	89		
Sep-96	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	83	83	83	83	83	19	19	19	1,983	78		
Oct-96	19	19	19	19	57	38	38	38	38	38	68	68	68	68	167	167	167	167	167	167	167	203	203	203	240	197	197	197	197	4,184	145		
Nov-96	193	193	255	223	223	223	223	193	193	193	280	280	190	156	156	156	54	54	54	54	54	66	66	66	66	66	66	66	66	4,454	164		
Dec-96	133	133	25	25	25	25	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	2,125	73		
Jan-97	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	41	41	41	41	1,871	62		
Feb-97	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	1,322	48		
Mar-97	70	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	1,669	59		
Apr-97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計																											25,108						

- 0人 宿泊者なし
- 1~84人 既存ドミトリーで十分収容可能
- 85~124人 本件の実施により金員ドミトリーに収容可能となる
- 125人以上 本件の実施後もドミトリーが不足している

BAPELKES - UPDの訓練参加者数(宿泊者数)  
1996 - 1997

DATE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	total	average
Apr-96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30	1
May-96	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	0	0	30	76	76	30	30	978	36	
Jun-96	30	30	30	30	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	79	79	79	79	79	79	79	1,528	59	
Jul-96	79	52	79	52	30	30	70	70	30	30	30	30	30	30	30	30	30	60	60	60	60	60	77	77	77	30	30	30	30	2,506	92		
Aug-96	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	72	72	72	72	72	72	49	49	49	49	49	49	2,458	89	
Sept-96	49	79	79	79	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	83	83	83	19	19	19	19	1,983	78		
Oct-96	19	19	19	19	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	4,184	145		
Nov-96	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	4,454	164		
Dec-96	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	2,125	73		
Jan-97	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	1,871	62		
Feb-97	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	1,322	48		
Mar-97	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	1,669	59		
Apr-97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計																															25,108		

0人 宿泊者なし  
 1~38人 既存システムリーで十分な研修  
 39~124人 本年の実施により各システムリーに改善可能となる  
 125人以上 本年の実施後も各システムリーが不足している

BAPELKES-MND と BAPELKES-UPD の予算  
(1995/96 - 1997/98)

(DALAM RIBUAN RUPIAH)

	Budget for Bapelkes Manado			Budget for Bapelkes U.Pandang		
	1995/96	1996/97	1997/98	1995/96	1996/97	1997/98
Staff Salary	59.541,0	98.500,0	108.850,0	96.166,0	140.200,0	164.150,0
Workshop Equipment						
Administration Cost	4.131,0	5.720,0	7.830,0	6.291,0	7.590,0	9.000,0
Equipment Maintenance Cost	14.240,0	8.170,0	13.160,0	7.390,0	13.740,0	9.860,0
Running Costs Electricity Supply						
Running Costs for Water Supply	15.000,0	16.200,0	20.446,0	23.800,0	27.360,0	34.351,0
Running Costs for Telephone						
Equipment Cost for Activities						
Others	45.329,0	35.450,0	54.020,0	36.514,0	54.800,0	60.270,0
Gasoline and Maintenance Cost						
Running Costs for fuel Oil	2.000,0	2.600,0	3.000,0	2.000,0	2.600,0	3.000,0
Facility Maintenance Cost	8.262,0	6.900,0	15.873,0	21.575,0	22.800,0	35.433,0
Facility Operation Cost	2.129,0	2.477,0	2.750,0	1.659,0	2.007,0	2.291,0
Transportation Cost						
Total	150.632,0	176.017,0	225.929,0	195.395,0	271.097,0	318.355,0

(Source : 保健省計画局)

BAPELKES-MND の予算  
(1998/99 - 2002/03)

	1998 / 1999	1999 / 2000	2000 / 2001	2001 / 2002	2002 / 2003
Staff Salary	217,700,000	220,000,000	310,000,000	315,000,000	315,500,000
Facility Operation Cost	20,746,000	20,746,000	20,850,000	21,000,000	21,500,000
Workshop Equipment Cost	3,500,000	3,500,000	3,750,000	3,850,000	4,000,000
Administration Cost	8,000,000	8,000,000	8,500,000	9,000,000	9,250,000
Facility Maintenance Cost	1,000,000	1,000,000	5,000,000	5,500,000	5,650,000
Equipment Maintenance Cost	7,000,000	7,000,000	10,000,000	10,250,000	10,450,000
Equipment Cost For Activities	14,740,000	14,740,000	14,950,000	15,000,000	15,250,000
Others	35,000,000	35,000,000	35,500,000	35,650,000	35,750,000
Transportation Cost	3,000,000	6,000,000	7,500,000	7,600,000	7,685,000
Gasoline and Maintenance Cost	3,500,000	3,500,000	4,000,000	4,250,000	4,450,000
Running Costs For Electricity Supply	3,676,770	7,353,540	7,550,000	7,650,000	7,800,000
Running Costs For Water Supply	3,403,000	5,529,960	6,250,000	6,400,000	6,575,000
Running Costs For Telephone	2,764,980	5,529,960	5,750,000	5,900,000	5,950,000
Running Costs For Fuel Oil	0	1,500,000	2,250,000	2,400,000	2,500,000
Total	324,030,750	337,899,460	439,600,000	447,050,000	449,810,000

(Source : BAPELKES-MND)

BAPELKES-UPD の予算  
(1998/99 - 2002/03)

(Dalam Ribuan Rupiah)

	1998/ 1999	1999/ 2000	2000/ 2001	2001/ 2002	2002/ 2003
Staff Salary	196,980.0	236,376.0	283,651.2	340,381.4	408,457.7
Workshop Equipment Cost					
Administration Cost	10,800.0	12,960.0	15,552.0	18,662.4	22,394.9
Equipment Maintenance Cost	11,832.0	14,198.4	17,038.1	20,445.7	24,534.8
Running Costs Electricity Supply					
Running Costs for Water Supply					
Running Costs for Telephone	41,221.2	49,465.4	59,358.5	71,230.2	85,476.3
Equipment Cost for Activities					
Other	72,324.0	86,788.8	104,146.6	124,975.9	149,971.0
Gasoline and Maintenance Cost					
Running Costs for fuel Oil	3,600.0	4,320.0	5,184.0	6,220.8	7,465.0
Facility Maintenance Cost					
Facility Operation Cost	52,519.6	63,023.5	75,628.2	90,753.9	108,904.6
Transportation Cost	2,749.2	3,299.0	3,958.8	4,750.6	5,700.7
Total	392,026.0	470,431.2	564,517.4	677,420.9	812,905.1

(Source : 保健省計画局)

## BAPELKESの施設使用料

No.		Aランク BAPELKES			Bクラス BAPELKES			備考
		保健省	他の省庁	民間	保健省	他の省庁	民間	
1.	ドミトリ- 使用料	-	2,000	3,000	-	1,500	2,000	人/日
2.	ドミトリ-(VIP用) 使用料	-	6,000	8,000	-	3,000	4,000	室/日
3.	ネチイリム 使用料							
	- ACなし	-	20,000	25,000	-	10,000	15,000	最大4時間/1回
	- AC付	-	25,000	30,000	-	15,000	20,000	最大4時間/1回
4.	研修室 使用料							
	- ACなし	-	2,500	3,000	-	2,000	2,500	1回/1クラス/日
	- AC付	-	3,000	5,000	-	2,000	3,000	1回/1クラス/日
5.	ドミトリ サービス料	2,500	3,500	7,500	2,000	3,000	5,000	室/日
6.	ドミトリ-(VIP用) サービス料	10,000	20,000	30,000	5,000	10,000	20,000	室/日
7.	ネチイリム サービス料							
	- ACなし	10,000	30,000	50,000	7,500	20,000	25,000	最大4時間/1回
	- AC付	15,000	40,000	75,000	10,000	25,000	30,000	最大4時間/1回
8.	研修室 サービス料							
	- ACなし	3,000	5,000	10,000	2,000	3,500	7,500	1回/1クラス/日
	- AC付	7,500	10,000	15,000	2,500	4,500	15,000	1回/1クラス/日

(Source : BAPELKES-MND)